シルクレポート　2014. 11 月号

No.39

>>> Contents

●提携トピックス

碓氷製糸農業協同組合が、天皇杯を受賞
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 一般財団法人大日本蚕糸会 ―― ❶

髙島屋「上品會」と「誰が袖好み」の取組み
～染織芸術の探究と純国産絹へのこだわり～
・・・・・・ 株式会社髙島屋 MD 本部　呉服 DV 担当部長　池田　喜政 ―― ❹

●国内情報

高級和服地「お召し」に取り組んで
・・・・ 森秀織物株式会社　代表取締役　長谷川　博紀（伝統工芸士） ―― ❾

シルク遺産を訪ねて⑱
ネクタイメーカー成和株式会社の機資料館
・・・・・・・・・・・・・・・ 東京産業考古学会　副会長 平井　東幸 ―― ⓯

●シルク豆辞典

「普通のカイコとは？」「カイコの繭色は白？」
・・・・・・・・・・ 東京農工大学農学部蚕学研究室　准教授　横山　岳 ―― ⓲

●研究・技術情報

深みのある黒染めの試み
・・・ 一般財団法人大日本蚕糸会　蚕糸科学研究所 研究員　花之内　智彦 ―― ㉑

●資料紹介

髙木賢編著「日本の蚕糸のものがたり～横浜開港後 150 年波乱万丈の歴史」
出版のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ―― ㉔

●提携支援センターから

平成 26 年度第 3 次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ・・・・・・・・・・ ―― ㉖
純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧・・・・・・・・・・・・ ―― ㉙
提携支援センター活動日誌 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ―― ㊱

●イベント情報 ―― ㊲

●蚕糸絹関係博物館一覧 ―― ㊷

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧 ―― ㊹

●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧下さい。） ―― ㊼

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、インターネット（http://www.silk-teikei.jp）でもご覧になれます。

平成 26 年度（第 53 回）農林水産祭
碓氷製糸農業協同組合が、天皇杯を受賞

一般財団法人大日本蚕糸会

碓氷製糸農業協同組合は、本年度農林水産祭中央審査委員会（会長　鈴木和夫氏）において、「蚕糸・地域特産」部門で「天皇杯」を受賞されました。農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を高めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により実施されているものです。碓氷農業協同組合は、蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の推進と優良生糸の製造による「純国産絹製品」づくりの成果等に対しての受賞です。その概要は次のとおりです。

碓氷製糸農業協同組合の外観

平成 26 年度天皇杯受賞者受賞理由概要

蚕糸・地域特産部門

蚕糸・絹業連携の中核的製糸農協として多様な「純国産絹製品」づくりを推進

○氏名又は名称　碓氷製糸農業協同組合（代表　髙村育也）

○所在地　群馬県安中市

○出品財　経営（生糸）

○受賞理由

・地域の概要

安中市は、群馬県の西部に位置し、日本三大奇勝の一つである妙義山を望むなど自然、歴史等が豊かな市である。農業は、畜産のほか、平地では稲作、麦作、最近では、とまと、きゅうりなどの施設野菜等の都市近郊農業が営まれ、中山間地域では、うめ、こんにゃく、ねぎ、繭等の生産、加工による付加価値化に取り組むとともに、観光とも結びついた特色ある農業が営まれている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

碓氷製糸農業協同組合は、昭和 34 年 12 月に生糸製造単体経営の農協として設立された組合であり、現在国内唯一の農協組織の生糸製造業者である。また、２つの「蚕糸・絹業提携グループ」の代表として、川上から川下まで一貫した体制を整え、国産繭・生糸の特徴や希少性を活かした純国産絹製品づくりの中核的な役割を担っている。

・受賞者の特色

（１）国内最大規模を誇る生糸生産と売れる「モノ」づくり

平成 25 年度の碓氷製糸農業協同組合の生糸生産量は約 15 ｔで、全国の生産量の６割以上を占め、国内最大規模を誇っている。また、売れる「モノ」づくりという観点から、養蚕農家には出荷前選繭（せんけん）の徹底と生糸の原料として差別化された優良繭の生産を指導するとともに、繭の収納量に対応した施設整備を行いながら、生糸生産に取り組んでいる。

（２）特徴ある多様な生糸生産

「ぐんま 200」「新小石丸」「プラチナボーイ」等 12 以上の蚕品種の繭から普通生糸、

太繊度低張力糸（ふとせんどていちょうりょくし）、ネットロウシルクなど６種の異なる繰糸法で蚕品種の特徴を活かした多種多様な生糸を生産し、これらは、中小の工房や製織業のニーズに応じて弾力的に供給され、純国産絹製品の生産・販売を促進している。

（３）川上・川下が連携した蚕糸・絹業の６次産業化

群馬県内をはじめ全国 11 都県で生産される繭を繰糸し、19 の蚕糸・絹業提携グループの生糸生産に携わる一方、自ら「碓氷製糸シルク工房の会」及び「純国産シルクを守る会」の代表として、国産の繭・生糸を使用した「純国産絹製品」の製造・販売に至るまでの蚕糸・絹業の６次産業化の取組を中核となって推進している。

（４）女性の感性を活かした絹製品の企画・開発、販売

女性の感性を活かし、織物業者、製菓会社等と連携しながら、絹を使用したボディータオル、石鹸、靴下のほか、シルクパウダーや桑の実の飴、ジャム等、碓氷製糸オリジナル商品の企画・開発に取り組み、年間３千人を超える工場見学者に対する直売や、通信販売等を通じて、知名度の向上と収益確保を図っている。

・普及性と今後の発展方向

碓氷製糸農業協同組合は、全国から繭を収納し、国内最大規模の生糸生産量を誇るとともに、蚕糸・絹業が連携した「純国産絹製品」づくりの川上と川下をつなぐ製糸業者として、今後も我が国の蚕糸・絹業の維持・発展に寄与することが期待される。また、富岡製糸場と絹遺産群の世界文化遺産登録を、蚕糸業に対する理解促進と絹製品の需要拡大の好機として捉え、工場見学者の積極的な受入れやオリジナル製品の販売促進を行うこととしており、蚕糸業の活性化に向けた更なる取組が期待される。

碓氷製糸農業協同組合の繰糸作業

髙島屋「上品會」と「誰が袖好み」の取組み

～染織芸術の探究と純国産絹へのこだわり～

株式会社髙島屋 MD 本部
呉服 DV 担当部長　池田　喜政

はじめに

髙島屋の創業は 1831（天保 2）年。創業以来、呉服の商いを通じて、お客様の生活に潤いと豊かさをご提供してまいりました。この精神は今も変わらず、生産者とお客様を繋ぎ、染織の技術技法の維持向上に努め、きもの文化の発展に寄与していくことを目的としています。

今回は、髙島屋が、プライベートブランドとして企画販売している 2 つ取組みをご紹介させていただきます。はじめに、染織の技術技法を同人である名匠老舗と探究する『上品會（じょうぼんかい）』の 70 有余年の取組みについて、次に「髙島屋」と「千總（ちそう）」（京友禅の老舗）が純国産繭を使用して企画・製作・販売を始めて 10 年になる『誰が袖好み（たがそでごのみ）』のこだわりの取組みについてです。

第 60 回上品会（日本橋店）

～翻古為新（ほんこいしん）『上品會』～

『上品會』は、我が国の染織芸術である織（おり）･染（そめ）･繍（ししゅう）･纐（しぼり）・絣（かすり）のいわゆる絹の五芸術に磨きをかけ、最高峰の製品を創りだし世の中に問うていくという精神で 1936（昭和 11）年に始まりました。戦火が激しくなった 1942（昭和 17）年に休止し、戦後の 1953（昭和 28）年に復興開催してから数えて本年で第 62 回を迎えています。

この間さまざまな試練がありましたが、志と技術と信頼度で結ばれた同人各社と切磋琢磨して乗り越えてきました。企画の段階から共有した情報をもとに討議や試作を重ね製作された作品は、厳しい審査を経た後に責任をもって当社が買取り、呉服のお得意様を中心に販売しています。

しかし、70 有余年に亘る長い歴史の中で順風満帆だったわけではありません。厳しい時代も経験しました。近年では 2008（平成 20) 年のリーマンショック後に大きく売上を落としました。しかし、その度に、上品會「素旨（そし）」（作品創りの規範を記したもの）への回帰と「翻古為新（ほんこいしん・ふるきをひるがえしてあたらしきをなす)」を、不動の精神として蘇（よみがえ）りました。上品會の売上規模は、直近 5 年間では毎年 2 桁近い伸びを続け 5 年前と比べ倍増しています。

なぜ『上品會』が継続成長できているのか。それはどんな取組みであったのかの一例をご紹介します。数年前、上品會を毎年楽しみに来場した当社ＯＢから“お客様を裏切っていないか”と問われました。その年の作品に満足できなかったようです。

実は 10 年ほど前から売上減少が続いていたのですが、少しずつであったために現状に甘んじ大きな変更はできませんでした。しかし、その一言が上品會変革への一歩になったのです。

まず、過去の写影帖（図録）の振り返りから始めました。1936（昭和 11）年の第 1 回からと 1953（昭和 28）年の復興第 1 回からの 70 有余年の記録です。何度も繰り返し見ているうちに作品の特徴が薄れ力が落ちているように感じたのです。よく考えればわかることなのでしょうが、毎年、品揃え計画と作品製作に懸命に取り組み、熱くどっぷり入り込んでいたので盲目的になっていたのかもしれません。

上品會の魅力は何か、長年に亘り上品會が続けてこられた理由は何かを自問自答しました。答えは髙島屋という小売業が主導権を持って企画運営しているからだということです。なぜかというと小売業だけがお客様を直接知ることができるからです。つまり、お客様の声を聞き、ニーズを徹底的に掴み、本物の作品を製作し提供するといった商いの基本が自らできるからです。

再生に向け上品會は舵をきりました。お客様が感動して思わず買いたくなるような

本物を創り提供すること。つまり、意欲的なテーマ、構図、色彩に挑み、今はもうできなくなってきているような高度な染織の技術技法を駆使して、他にはない本物の商品を世に送り出すこと。それをお客様に喜んで買っていただくことなのです。こうして作り手と売り手が価値観を共有し、相応の努力をすることを再確認し妥協を許さない本物の作品創りに取り組んだのです。

上品會の存在理由と役割は、それに尽きるのです。その存在理由と役割を忘れない限り、また我が国が誇る染織芸術の探究と継承という志を持ち続ける限り『上品會』はこれからも長く世の中に支持されて存続するだろうと思います。

“着る人がいないからキモノが売れないのではなく、いいキモノがないから売れないのだ” これが、私が『上品會』に携（たずさ）わってきて分かった、まごうことない真理です。

～ 純国産絹を守る『誰が袖好み』～

純国産絹の当社での取組みは、2002(平成 14) 年に遡ります。当時、食品の産地偽装が TV や新聞で報道され大きな社会問題となっていました。きものの生地や素材に対しても、お客様の問い合わせや質問があり正確な返事が求められました。そこで、取引先に対し聞き取りを行いましたが、白生地や糸については正確な説明が返ってきません。繭の種類や特徴はわからない。何よりどこの産地で誰が作っているのかも把

桑木植樹にて（群馬県）

握していない。きもの世界は養蚕から販売まで、各工程に独立した事業者がいるため、それぞれの事業者は前後の行程しかわからない。これが当時の一般的な小売や問屋の実態だったのです。

そこで、特定の養蚕農家、製糸、製織、染色加工までの全てを一貫生産し、その生産履歴を明らかにして責任持って販売したいと考えました。こうして「千總」と協同して純国産絹における一貫生産体制にむけて走り出したのです。これが当社の最初の純国産絹の取組みです。生産段階での各産地の履歴も「日本の絹マーク」にいち早く記載し、その後の「純国産絹マーク」にも継続して記載しています。

松岡㈱にて（山形県）

製品化に際しては当初、純国産糸の新たなアイテムを作ろうと考えました。しかし養蚕農家、製糸、製織の方々の実態を聴くにつれ、中途半端な気持ちで純国産糸を扱うことはできないと考えるようになりました。長く継続できる仕組みこそ必要だと考えたのです。当社のプライベートブランド『誰が袖好み』の糸を純国産糸に変更したのは、そんな想いからでした。製作変更して発売以来 10 年が経ちましたが順調に推移し、振袖だけでなく七五三の祝着などにも純国産糸の使用を拡げています。

しかし、問題がないわけではありません。『誰が袖好み』提携グループの南那須の養蚕農家と始めた取組みも、当初 13 戸ありましたが、現在は 4 戸と激減しました。養蚕農家の方々の高齢化も進んでおり後継者も望み薄です。毎年、養蚕農家への社員研修を実施し実態を聴いて考えることですが、川上の生産者である養蚕農家には単なる助成でなく、もっと根本的で篤（あつ）い支援策や待遇改善など新たな仕組みが必要です。

また、製織産地である丹後、長浜、福井を訪ねても厳しい状況に変わりはありません。高い技術と創意工夫で懸命に品質の高い糸を作り産地を守っている方々からも純国産糸についての問題点を聴きます。すべての声ではありませんが、一般的に糸の繊度にムラがある、節が多く経糸に使いにくい、ブラタク糸や中国糸の方が扱い易いなどです。確かに、品質的にも価格的にも国産糸に勝った糸が、ブラジルや中国から手に入るのに、なぜ国産にこだわるのか。と当初は思った方も少なくありませんし、今もそのように思われる向きもあると思います。

しかし、純国産糸を守るということは我が国絹業ときものの根幹に関わることなのです。仮に、純国産糸が全滅してしまい、海外からの輸入に頼るしかなくなったとし

㈱松浦絹織にて（福井県）

藤田さん宅にて南那須研修（栃木県）

たら、すべては相手国の言いなりです。糸で済んでいるうちはまだいいとして、やがてより付加価値の高い白生地でしか輸出しないと言う状況になってしまったら、品質や価格のリスクは格段に大きくなります。さらに言えば、関連の製糸、撚糸、製織、精練などあらゆる分野で貴重な技術の継承ができなくなるのです。

だから、**“純国産糸を守る”**ことを大事にしなければならないのです。これは経済効率の問題だけではありません。それには、まずは何より、**“どこにも負けない、よい糸を作る”**という目標を持って生産管理に取組むことが大切です。一方で、製作側・作家側の声を聞いて製品に相応しい繭作り、糸作りも必要です。

今、業界では問題意識が大きくはなってきていますが、それでも対岸の火事ぐらいとしか思っていない方々も多くいます。経済効率だけに基づいて動いていると、土台が崩れて取り返しができないところまできてしまうことを忘れてはならないのです。

純国産糸を守り、継承していくという価値観を持った仲間が集まり、養蚕農家を始めとした生産者側における幾多の犠牲を減らし、これを扱う小売側の格段の尽力に期待するものです。

高級和服地「お召し」に取り組んで

森秀織物株式会社（群馬県桐生市）
代表取締役　長谷川博紀（伝統工芸士）

はじめに

1877（明治 10）年創業、半農半工で生糸や織物生産を始めおよそ 140 年、国の『御召製造技術保存工場』として各界のきものを生産してまいりました。現在は、伝統的工芸品の御召の復元をはじめ、インテリア生地・和装小物など様々な織物を企画し生産しております。

大正の初めには産業生産のための本格的な織物工場を整備し、昭和にかけてきもの地の生産と問屋向けの販売で活況を見せました。1939（昭和 14）年からの大戦時には、御召織技術保存工場として国に指定され、その伝統技術とノウハウを継承し戦後には皇室ご来訪の栄誉に授かりました。戦後は、御召だけでなく紗・帯・インテリア織物などの織物開発に努め、数々の新企画を立ち上げ桐生織の生産とＰＲを行ってまいりました。

御召を使った製品開発

御召自体は、非常に喜ばしいことに文楽人形遣いで人間国宝の故吉田玉夫先生のご要望により、江戸時代ながらの人形の御召も復元することができ、ぐんまの絹糸（きぬいと）を活用することもできました。しかしながら、御召愛好家の方々にご注文をいただいても国産生糸に見合う消費開拓ができず、なにかジャパンシルクを目一杯活かせる新アイテムは無いものかとさらに思

森秀織物株式会社の外観

織物参考館“紫（ゆかり）”の外観

桐生式高機

案する毎日でした。

国産生糸を活かして何か作れないか？当社の強みである御召をきもの以外で活かせないか？この想いから作り出されたのが『御召アカスリ』だったのです。元々、従業員や職人は昔に使っていたこともあり、その製法の再現はそれほど難しくは無かったのですが、国産の生糸を使用することでのコストは掛かってしまうので、価格と販売方法はかなりの間悩みました。

そんな折に、群馬県繊維工業試験場から富岡製糸場が世界文化遺産に正式登録間近となり富岡製糸場のお土産の製品開拓とし

御召着尺

て期間限定展示販売計画のお声を掛けていただき、富岡の絹で新製品を作って富岡製糸場で販売をしませんか？と、これぞ渡りに船。高付加価値のある富岡の繭・生糸を使用でき、販売の可能性もかなり高く現実的になってきました。国産繭・生糸を使用するモノづくりを進めていると、機会にも恵まれるものだと思います。

フランス・パリで毎年行われ好評を博している『ジャパンエキスポ』

ジャパンエキスポ（平成 26 年 7 月開催）は、アニメや日本の和文化発信イベントとして日本愛好家のパリっ子が集う場でもある展示会です。毎年、参加人数・規模が大きくなるなか 15 周年記念大会として、和文化発信ブースに伝統工芸ブースを経済産業省などが後援して『ＷＡＢＩ　ＳＡＢＩ』ブースを出展することになり、その招待出品作品に当社の『御召アカスリ』が選定されました。これも一つの縁であると即決して出品を快諾、本来であれば自分自身も渡

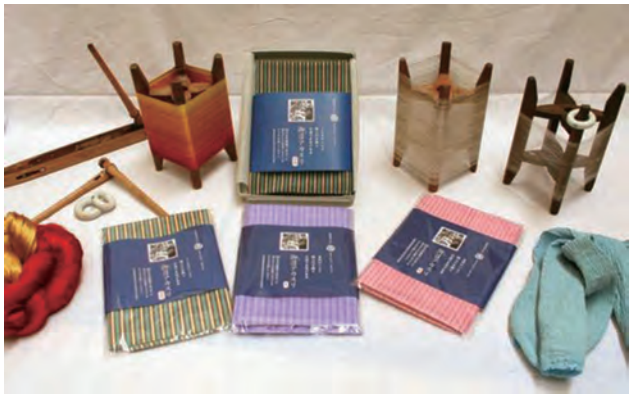
航できれば良かったのですが、予定していなかったスケジュールなので叶わず、初めての参加である今回は作品だけが海を渡ることになったのです。

その昔、桐生館として万博などに桐生織・和の絹生地が出展されていた明治時代からどのくらい時間が経ったのか、その時は前橋の生糸・桐生の織物としてやはりジャパンシルクブランドを前面に出して売り込み、数多くの輸出貿易を成功させた先人達がいた、そんな事にも想いを馳せながら作品を梱包して輸出させていただきました。

今回、富岡製糸場が製糸業の近代産業化を成功させた文化遺産に登録されたのも、その当時のジャパンシルク隆盛が深く関係している歴史を考えて見ても面白いことだと思います。エキスポ・パリの開催結果レポートが７月に届きました。かなり興味津津に現地の方々は作品を見入られて、手にとり、質問が次から次に出てきたそうです。やはり、かなり無理をしてでも行くべきだったかと反省をしております。そのジャパンエキスポは北米にも開催地を広げ、今年はシリコンバレーにて９月に開催されました。

台湾で展示会開催

私自身がアテンドして作品を売り込む展示会はアジアの台湾を予定しており、本年10月には渡航してテキスタイルフェアに参加します。翻訳（通訳）を介してのＰＲ・売り込みは初めての経験なので少々緊張し



アカスリ集合

緑ピンクアカスリ

御召アカスリ縞袋

御召風呂敷サンプル

ますが、ジャパンシルクを売り込み、当社製品や日本の伝統的工芸品をアピールするチャンスとして張り切っています。本当にこういうときは次から次にチャンスが繋がると感心してしまいます。これは、春先に知り合った台湾の方から群馬県のＰＲイベントを台湾で企画しているので参加してみないかと依頼されました。予定していた展示会とはスケジュールが離れているし、自分が渡航しなくても大丈夫であれば良いですよと直ぐにお返事させていただきました。そして、暫くして内容が大きくなってきました。おそらくこれも富岡製糸場と絹遺産群の世界文化遺産登録と関係があると思われます。

現在の予定では、当初考えていたイベント以外に台南の百貨店で日本フェアを大々的に行い、その中に展示参加してもらえないだろうか、もちろん渡航して通訳も付けるので実際にバイヤーやお客様と直接お話しをして、ジャパンシルク・富岡製糸場・ぐんまの絹・桐生の織物や伝統的工芸品をＰＲして欲しいと依頼されております。台南から台北へ往復移動する新幹線は楽しめそうですが、初めての台湾一人旅は少々不安でもありますが期待を込めて参加したいと考えています。

今思うこと

桐生の織物産地としても 1,300 年余り（諸説あり、実際はもっと歴史は古いようです）、日本の蚕糸業は当然もっともっと古いはずであり、その養蚕農家や農家の内職仕事であり、近代産業や工業化されても

ずっと日本の礎として千年単位で国を支えてきたお蚕様や日本の生糸が途絶えてしまうことは絶対に避けなければなりません。どのような形であれ、生き物ですから代々受け継いでいかなければ技術を失ってしまい、簡単に復元出来ないのは明白です。

我々、織物業が純国産絹の消費を高められる製品を作りだす努力をしておりますが、それだけでは日本の絹を守っていくのは難しいかもしれません。世界に向けての魅力発信も大事です。しかし、もっと日本人自らが日本の伝統産業・絹・織物に目を向けて、少し高くても本当に自分たちの文化や気候風土にあったモノづくりを意識してもらえれば自然と守られていくものだと考えます。

このままだと、養蚕農家は世代交代が出来ないまま産業としてはその役目を終えてしまいます。織物業はその高付加価値を製品に転嫁出来ないまま織物を生産しています。織物業や繊維製造業も現状のままでは産業としては成り立たないポイントが直ぐ迫っています。それもこれも、国産製品や伝統産業を顧みずに、安価な外国製品に消費者や販売者が飛び付きそのまま現在のマーケットを形成して、安ければ安いほど良いという、安全や安心、製品に隠れた文化すらも何処かに忘れられた製品を世の中に氾濫させてしまったからです。

使用期限切れの食肉のことなど思い出してもらえれば、輸入衣料や繊維の業界でもなにかとんでもないことが潜んでいそうなのは容易に想像できます。和服でも浴衣などそうですし、洋服でも 1,000 円や 2,000 円で販売されているものはコスト計算が成り立たないのは賢明な方なら気付かれるでしょう。人件費が安い国で作るから、安い洋服や和服が出来る。本当にそうでしょうか？輸入してくる燃料代やらのコストや販売の手間暇を考えると数百円の輸入食品や数千円の輸入衣料品は一体原材料はどうなっているのだろう、本当に安全な材料で作られているのかと心配になります。

それでも、食品についてはは皆さん原産地や加工地を確認される方が多いのですが、衣料品になると途端に無頓着な方が殆どなことに驚きます、口に入れる物では無いので大丈夫ですか？肌に直接触れて、一日中身にまとっているのに何処の誰がどうやって作ったのか全く気にならないですか？本当に何も悪影響が無いのですか？

消費者に訴えたいこと

そろそろ安い物を大量に消費する浪費社会を見直して、日本人らしく日本人が昔から大事にしてきた伝統や文化に沿ったモノを大事にする社会に戻る時ではないでしょうか。そして、確かなモノをつくる作り手や職人さんなどの顔が見える製品を愛用されては如何でしょうか。和服でも洋服でもしっかりしたモノづくりのものはやはり値が張りますが、その価格以上に価値と愛着があり、大事に使えば世代を超えてお世話になることもできます。日本人であればそれぞれが、温故知新で伝統産業の存在を見直して、もっと身近に感じてもらえば、価

格や環境も身近に自然と成るでしょう。

　グローバルな時代だからこそ、和文化を大事にして生き物である絹を守っていくことが国や個人の誇りにも繋がると確信し、日本の絹に明るい未来が待っていることを願いつつ締めくくりたいと思います。

■ 森秀織物株式会社の紹介

〒 376-0034
群馬県桐生市東 4 丁目 2-24
TEL：0277-45-3111
FAX：0277-46-1010
http://www.morihide.co.jp
E-mail:info@morihide.co.jp

☆織物参考館“紫”（ゆかり）体験型博物館
http://www.morihide.co.jp/yukariNEW/indexYK.html

シルク遺産を訪ねて⑱

ネクタイメーカー成和株式会社の機資料館

東京産業考古学会
副会長　平井　東幸

東京方面からJR中央線で八王子駅に到着する数分前に左手の線路際に、Seiwa Neckwearのマークがある薄茶色の建物が見える。これが、今回ご紹介する機資料館である。ネクタイメーカーとして著名な成和株式会社の企業博物館である。1995（平成7）年、創業60周年を記念してオープンしたもの。収蔵品は約5千点。

建物は鉄骨2階建で、資料館として建設され、1階には織機、紋彫機、各種準備機等の重量物、2階には桑から始まって養蚕、そして製糸の主として木製の用具、部品類が多数展示されている。

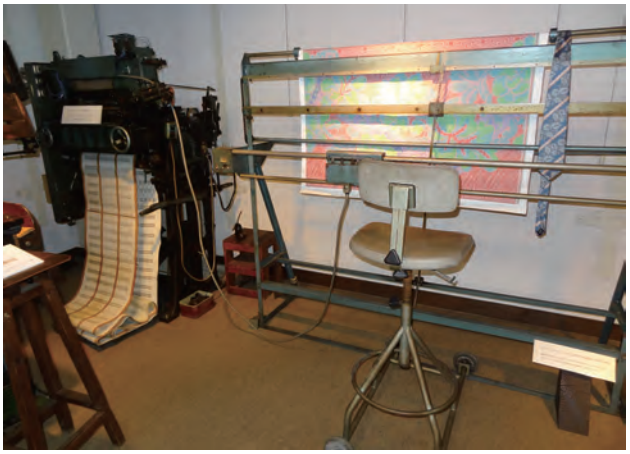
設置者がネクタイメーカーであるから展示の主体は、同社が戦前、戦後長年にわたり使用してきた紋織り関係の機械であるが、この資料館の特長は、それだけでなく、全国各地から収集した織機をはじめ用具類が非常に多いことであり、その提供先は40超の個人・企業・団体であり、北は山形から、南は沖縄にまでと全国にわたっている。

主要な展示品の数であるが、ジャガード10台、紋彫機5台、木製織機14台と多数にわたっている。

そのなかで、とくに珍しく貴重と思われるものをいくつか挙げると、

①ボータイ織機・・・すなわちbow tieを織る木製枠織機である。ネクタイメーカーの資料館ならではの機械である。

機資料館の外観（写真は同社の許可を得て撮影した。以下同じ。）



フランス製の紋彫機

中国製の織機（一番手前の木製織機）

２階の展示場

②フランス製の紋彫機・・・1952（昭和 27）年にジャカードの本場、フランスのリヨンのヴェルドル（Verdol）社から輸入したもの。当時わが国には 20 台程度輸入された由。通称「ピアノ・マシン」で、ペーパーに機械でパンチして孔を開ける装置で、その後フロッピーデスクを利用した電子機器に代替されている。

③引棚式高機・・・これは江戸末期まで使用されていた、上部に設置した竹の張力を利用して経糸を上下させる仕組みが近代以前の織機の機構を示していて珍しい。

④中国の木製の高機・・・清朝に浙江省金杭県宏幟郷で使われていた貴重なもの。

このほか、研究所には、1952（昭和 27）年以降のネクタイ織物の見本帳が設計書付きで保管されており、ネクタイの流行の変遷を研究する上でも誠に貴重である。

ところで、同社は 1935（昭和 10）年に東京・日本橋でネクタイ製造を開始した。1951（昭和 26）年に八王子市北野町に製織工場を建設、当初、織機 50 台を備え、染色も兼営していた。創業 50 年を記念して現在地に工場を移転。現在は、ジャカード織機 24 台、ほかに準備機を設置して操業している。現在、糸はシルクのみで西陣の糸商から購入し、染色、ネクタイ縫製は外注している。八王子の地元では機料店を含めて業者がいなくなり、産地の集積は今や失われたという。取引形態は、ネクタイ問屋からの受注生産であり、デザインは問屋や百貨店の担当者とのコラボである。販

売先はデパートが殆どで、量販店向けも一部ある。なお、同社の事業、ネクタイの生産工程などについては、八王子市市史編さん室『聞き書き　織物の技と生業』（八王子市史叢書 2、平成 26 年 3 月、頒価 1,000 円）に詳しい。

さらに、同研究所で取材し、また提供頂いた資料からネクタイ業界の動向を概略みてみると、わが国の 2004（平成 16）年のネクタイ供給量は、4,248 万本であったが、減少を続け 2013（平成 25）年には、2,529 万本にまで落ち込んでいる。10 年間に実に 4 割減である。この間、輸入品のシェアは 69.9% から 79.7% に上昇している。カジュアル化の進展、とりわけクールビズの普及、それに高齢化進展でネクタイ需要が減退しているもの。ただ、最近は輸入の浸透が底を打った模様であり、中国からの低価格品が一時のほぼ 3 割減になったことも大きいとみられている。

国内のネクタイ生産については、山梨、八王子、西陣が大半である。八王子は、戦後の昭和 20 年代に袴用の紋織りの技術をベースにネクタイに進出した。そして最大の消費地でありファッションの中心である東京に近いという地の利も生かして、1980（昭和 55）年代には「先染めネクタイの需要が増大、業界活気づいた」のである。しかし、前述のように市場は縮小の一途をたどって今日に至っている。現在ネクタイメーカーは全国で 10 数社であり、小ロット多品種生産の業界構造の中で、各社が似たようなものを生産しているところに問題の一端があり、各社の製品差別化、独自性の追求が課題になっているようである。

再び、機資料館に戻るが、先代社長の和田卓郎氏が「温故知新」をモットーに始められたこのコレクションは織機中心に準備機械や養蚕製糸を含めまことに充実している。そして江戸以降の古い用具も収集されており、一部は動態保存であることも重要である。

これらの資料は、ネクタイ業界だけでなく広くわが国繊維工業の発達を示す貴重な文化財であるだけに、末永く保存展示して頂きたい。なお、ネクタイ製造関係の機械用具も追加充実して頂いては如何と思う。

本館は、一般公開はしていません。

最後に、この取材で、見学を含めてお世話になり快くインタビューにも応じて頂いた、飯田新一常務取締役ならびに内藤理総務部長に感謝致します。

■アクセス（電車で）：JR「八王子」駅
又は京王電鉄「京王八王子」駅下車
徒歩：15 分位
■問合せ先：株式会社成和ネクタイ研究所
■所在地：〒 192-0906
東京都八王子市北野町 518-2
TEL&FAX：042-644-5233

「普通のカイコとは？」「カイコの繭色は白？」

東京農工大学農学部蚕学研究室
准教授　横山　岳

「普通のカイコの繭は何色？」と問えば、誰もが「白色」と答えるだろう。しかし、白い繭色のカイコは普通のカイコだろうか？　現在、農家で飼育しているカイコの繭は確かに白色がほとんどである。しかし、「農家で飼っているカイコ」は育種の粋（すい）を集めた特殊なカイコである。実は大正時代までは普通に色付きの繭のカイコを飼っていたし、世界的には色付きの繭を作るカイコの方が多い。東南アジア、インドでは黄繭を使っており、名高いタイシルクも黄色の繭から作られている。

何故か理由はわからないが、昭和期以降、日本の農家では白い繭を作るカイコしか飼育しなくなったので、日本人はカイコの繭は白と思い込んでいる。外国では黄色などの色付きの繭に違和感は全くないようである。大正期の蚕品種の約 1 /4 は黄色や肉色の繭であり、その頃までの日本人は色付き繭を普通に飼育していたので、色付きの繭に違和感はなかったのであろう。

図 1 は研究室で飼育しているカイコの繭である。実に様々な繭色があり、様々な繭型がある。多くの人は色付きの繭を見ると不思議そうに「桑以外を食べたのですか？」「繭に色を付けたのですか？」と感想疑問を投げかける。カイコは桑以外の葉を食べることはまずないし、わざわざ色を付けたわけでもない。普通に桑を食べて育って、普通に繭を作ったカイコである。紅色の繭を作るカイコはいつでも紅色の繭を作るし、黄色の繭を作るカイコはいつでも黄色の繭を作る。もちろん、白い繭を作るカイコは白い繭をいつでも作る。それぞれ遺伝的に何色の繭を作るか決まっている。

図 1　様々な色、形の蚕の繭

図２　蚕の体内の模式図

左の蚕は消化管から色素●が絹糸腺に移動するので繭糸に色素が付き黄色になる。
右の蚕は消化管から色素●が絹糸腺に移動できないので繭糸に色が付かない。

色付きの繭の色は桑葉に含まれる色素が繭糸に付いたものである。黄色や紅色の繭色は桑葉中のカロチノイド、薄い黄緑色はフラボノイドが繭糸についたものである。カイコが桑葉を食べると、桑葉の色素は消化管の膜を透過し、体液を経て、繭糸を作る絹糸腺に辿りつき、繭に色が付くことになる。桑葉のカロチノイドやフラボノイドの色素は多くの種類があり、どの色素が付くかによって繭色は決まってくる。白色の繭は桑葉の色素がまったく繭糸まで辿りつかなかったものである。消化管や絹糸腺の膜を通過することが出来なくなると色素が繭糸に辿りつかず、色が付かなくなる（図２）。これは、突然変異が起きたためである。白色繭は突然変異の結果なのである。

カイコの祖先はもともと野生であり、現在、桑畑にいるクワコに近いもので、野生のものが５千～１万年前の中国で家畜化されてカイコになったと考えられている。クワコの繭は薄黄色をしている。蚕の繭も元々このような薄黄色をしており、突然変

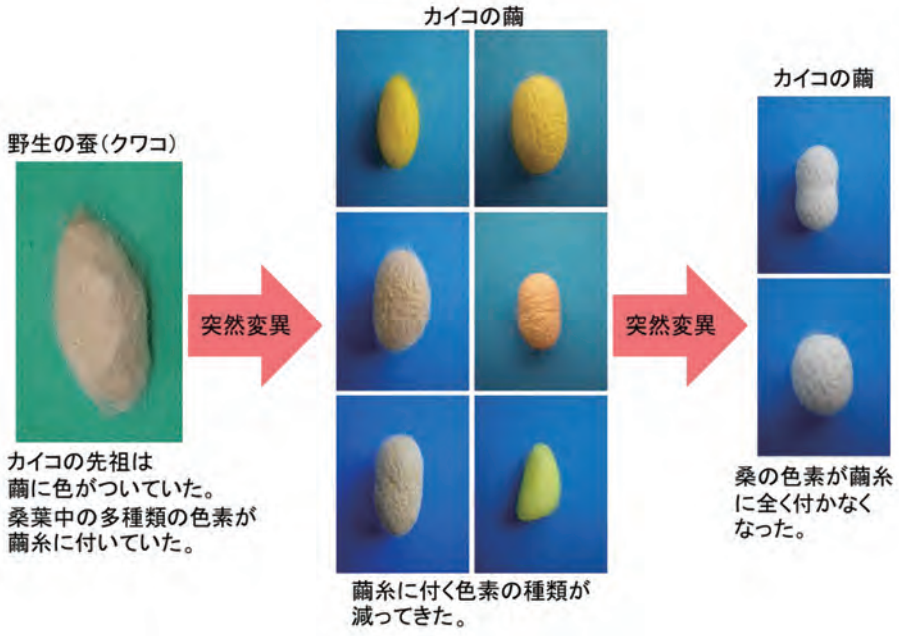


図３　カイコの繭色の変遷

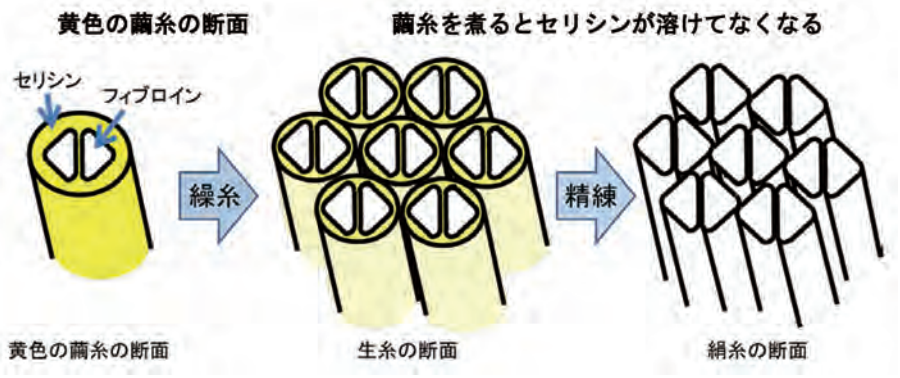


図 4　黄色の繭糸、生糸、絹糸の断面

異の結果、いくつかの色素が消化管や絹糸腺の膜を透過できなくなり、独特の繭色となっていったのだろう。そして、まったく色素が透過できなくなったのが、白繭である(図3)。記録が残っておらず、残念ながら、いつ、誰が様々な色の繭を作るカイコを作ったのかは不明である。

色付きの繭を見て「色付きの糸になるの？」との疑問も多い。紅色の繭から紅色の絹糸ができれば楽しいが、残念ながら色付きの絹糸にはならない。繭糸に付いている色素はセリシンという部分に付いている。繭糸は熱水で溶けるセリシンと溶けないフィブロインというタンパク質から成っている。

セリシンは糊状（膠質）のタンパク質で、カイコが糸を吐く際、繭糸をべたべたとくっ付いて繭を作ることができる。繭を煮ると、このセリシンがお湯に溶け、繭糸がほどけて束にすると生糸となる。生糸の段階ではまだセリシンが残っているが、さらにアルカリで煮るなどの精練をするとセリシンが完全に除かれ、フィブロインがむき出しとなり、絹糸となる（図 4）。

現在、白繭以外にも 1 ～ 2％であるが、色付きの繭のカイコが日本で飼育されている。フラボノイドの付いた薄緑繭の品種の「いろどり」、カロチノイドが付いた黄繭の品種の「ぐんま黄金」などである。昔の絹はセリシンを多く残したので、色付きの繭からの絹糸にも色が付いていたようだが、現在の絹糸はほとんどセリシンを取り除いているので絹糸にはほぼ色が残らない。また、色は桑葉由来のカロチノイドやフラボノイドの色なので、これらの色は時間とともに退色してしまう。このため、セリシンに付いた色を活かした絹糸の利用は難しい。しかし、フラボノイドは紫外線の透過を阻害する作用や活性酸素を消去する活性があり、セリシンの機能を活かした絹糸の利用が望まれる。また、江戸時代までの絹糸はセリシンが残っていたことから、セリシンを含んだ絹糸を使うと伝統的な和服の再現ができるのかもしれない。今でも洋装に使われるオーガンジーという、薄手の織物ではあるがセリシンを残した特徴ある織物もある。

深みのある黒染めの試み

一般財団法人大日本蚕糸会
蚕糸科学研究所
研究員　花之内　智彦

はじめに

黒色は赤味の黒、青味の黒、深い黒など様々な黒があり、染めることが難しい色です。特に、紋服や喪服等のフォーマルウェアの黒色では、より深みのある黒染めが求められているとともに、染色堅牢度の向上にも期待が寄せられています。

そこで、絹の摩擦によるスレや毛羽の抑制をも含めた染色堅牢度の向上技術として取り組んできた建染め染色法と、紋付等のフォーマルウェア用として最も黒らしい黒色に発色するログウッド染色糸とを比較して、深みのある黒染めについて検討してみます。

建染染色について

建染染料は、水に不溶の染料のため、染浴にアルカリ剤と還元剤を添加して染料を還元し水に可溶化させます。そして、繊維に染料を染着させた後、染料を酸化して水に不溶化させ繊維に固着させるというように、藍染めと同様の方法で染色を行います。

しかし、絹はアルカリに弱く脆化や損傷の懸念があるため、手染めでは使用される場合はありますが、染色機による染色には使用されていません。そこで、絹糸に化学加工を施すことで、耐アルカリ性の向上と毛羽立ちを抑制し耐洗濯性の向上を図る方法について検討しました。

建染染色は藍染めと同様に繊維の表面に過剰な染料が付着（表面染着）しやすいので、摩擦堅牢度が低くなる傾向がありますが、耐光堅牢度、汗堅牢度、洗濯堅牢度等に優れ、特に耐光堅牢度は７級以上（耐光堅牢度は１～８級あり、最もよい評価が８級）と評価される場合があります。あるインテリアメーカーの基準では、耐光堅牢度７級以上という評価は遮光カーテンに使用できるとのことです。このことから、アイデア次第では、酸性染料や反応染料等による染色糸では考えられなかった用途に建染染色糸を使用できるのではないかと考えます。

黒染めについて

黒染めは、赤、青等の染色に比べて高濃度で染色するのが一般的であり、中途半端な染料濃度では深みのある黒色に発色しま

せん。黒色染料の染料濃度を段階的に変えて染色してみると、染料濃度 5%o.w.f（図 1(a)）では濃紺色に見えますが、染料濃度が増加するに従い、黒色に近づき、染料濃度 30%o.w.f（図 1(c)）になると黒色に発色していることがわかります。しかし、深みのある黒色に見えた建染染色糸（図 2(a)）でも、ログウッド染色糸（図 2(b)）と見比べると、青味掛かった浅い黒にしか見えません。また、黒染めは高濃度で染色するので、染色堅牢度、特に摩擦堅牢度が低くなる傾向があります。このことから、黒染めは高濃度で染色し、深みのある黒色に発色させつつ、実用的な染色堅牢度を確保する必要があります。

注：%o.w.f は繊維の重量に対するパーセント

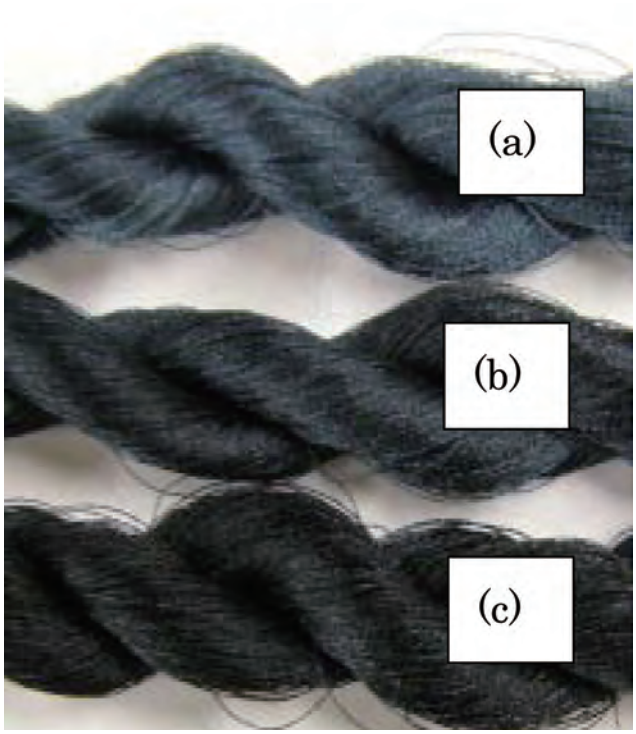


図 1　染料濃度と発色状態：
(a)5% o.w.f、(b)10%o.w.f、(c)30%o.w.f

深みのある黒染めについて

深みのある黒色に発色させる染色技法として、①所定の回数染め重ねる反復染め、②赤色染料や青色染料で下染めしてから黒染めを行う「紅下黒」や「藍下黒」等の方法、③黒色染料に赤・青・黄色染料等の数種の染料を配合して黒染めを行う方法、④黒染め糸等を樹脂等で加工して繊維表面の反射光を抑えて、黒色の発色を向上させる濃染加工等が行われています。①については、1 回の染色で深みのある黒色に発色させるのに比べ、低濃度で所定の回数染め重ねることで、繊維表面の過剰な染料の付着を減らし摩擦堅牢度の低下を抑えることができますが、何回も染め重ねるため、時間が掛かります。②および③は数種の染料で色味を調節し、深みのある黒色に発色させ

図 2　黒色染色糸の発色の比較：(a) 建染染色糸（30%o.w.f）、(b) ログウッド染色糸

る方法ですが、②については、下染めした染料と黒色染料が置き換わって深みのある黒色に発色するので、黒染めしたときに下染めした染料がどの程度残り、全体としてどの程度に発色するのか等を検討する必要があります。③については、黒色染料と同じ染まりつく性質（染着性）を持った染料を配合する必要があります。④については、絹の手触りを損ねないような加工を心掛ける必要があります。

建染染色は、染色時間の短縮と省力化を図るために③の方法で行いました。その結果、図 2(a) の染色で用いた黒色染料に赤色染料を配合することで、深みのある黒色に発色し、ログウッド染色糸の黒色に近づけることができました。

まとめ

黒染めは、製品同士を比較するとその発色の深みが一見してわかる色です。深みのある黒色に発色させるには高濃度で染色する必要がありますが、染色堅牢度、特に摩擦堅牢度が低くなる傾向があります。実用的にこれらの相反する条件を満たすために、様々な染色技法が考案されてきました。

当所では、提携支援グループが純国産絹製品の商品化を目指して取り組んでいる極細蚕品種である「極細 1 号」の特徴を活かした高品質織物を使用したフォーマル分野、特にブラックフォーマルでの製品開発に技術支援を行っています。建染染料の黒色染料に赤色染料を配合して染色堅牢度に優れた深みのある黒色に発色させる方法だけではなく、万能繰糸機による繊度偏差が少なく、節の評点が高い高品質生糸の繰製方法などを検討することで、純国産絹製品の商品化を促進し、高価格ゾーンの販路の構築に繋がるものと期待しています。

資料紹介

髙木賢編著「日本の蚕糸のものがたり～横浜開港後 150 年波乱万丈の歴史」出版のお知らせ

このたび、一般財団法人大日本蚕糸会会頭 髙木賢氏が「日本の蚕糸のものがたり～横浜開港後 150 年波乱万丈の歴史」（大成出版社発行、四六版、96 ページ）を上梓されました。

本書は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録されたことを契機に、横浜開港から今日に至る日本の蚕糸業の歴史、とりわけ日本の近代化に果たした蚕糸業の役割を、広く多くの人々に理解していただくため、まとめられたものです。最近の状況まで取り扱われていること、そのコンパクトさ、わかりやすさにおいて、他に類例を見ないものとなっています。

本書は、蚕糸・絹関係者はもとより、繊維織物に関係する方々、「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関心のある方々、日本の近代史に興味ある方々、またこれらを学ぼうとする学生生徒諸君にとって、有益かつ興味深く読めるものと言えるでしょう。

本書ができるかぎり多くの方々に読んでいただけるよう、中央蚕糸協会では本書の頒布をあっせんすることといたしました。

以下の要領でお申し込みいただければ、本書を出版社から直接配送するように手配いたします。（代金は商品到着後、商品に同封される払込用紙により送金いただきます。）

なお、本会を通じたこの方法でお申し込みいただいた場合には、一般販売価格 980 円（税込）のところ特別価格で 900 円（税込）となります。

また、送料は、２冊まで 300 円、３～５冊 350 円、６冊以上無料となります。

多数の方々からのお申し込みを期待しております。

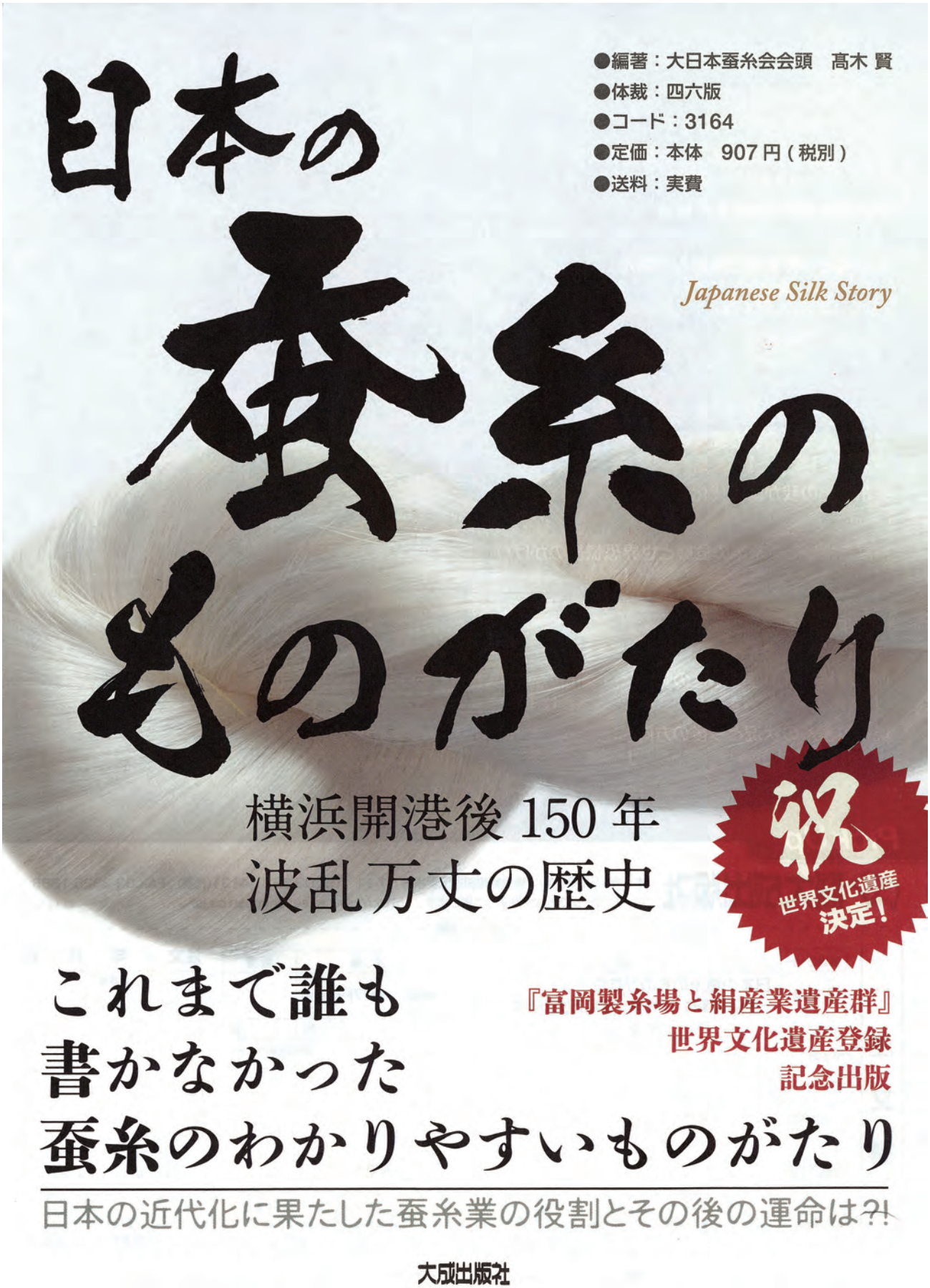
本書は蚕糸会館 1 階ジャパンシルクセンター、富岡製糸場、シルク博物館（横浜市）、群馬県立日本絹の里、全国の書店でも販売されています。（中央蚕糸協会・田中）

【お申し込みの方法】

ファックス又はメールにより、申込者名（法人団体の場合は法人団体名及び担当者名）、住所・電話番号、申込み冊数等を中央蚕糸協会田中又は鈴木にご連絡ください。

■ メール・アドレス：mtanaka@silk.or.jp

■ ファックス：03-3214-5778（℡：03-3214-5777）


●編著：大日本蚕糸会会頭　髙木 賢
●体裁：四六版
●コード：3164
●定価：本体　907 円（税別）
●送料：実費
日本の
蚕糸の
ものがたり
Japanese Silk Story
横浜開港後 150 年
波乱万丈の歴史
祝
世界文化遺産
決定！
これまで誰も
書かなかった
蚕糸のわかりやすいものがたり
『富岡製糸場と絹産業遺産群』
世界文化遺産登録
記念出版
日本の近代化に果たした蚕糸業の役割とその後の運命は?!
大成出版社

平成 26 年度第３次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの平成 26 年度第３次審査会を平成 26 年９月 25 日（木）に開催しました。今回は、13 者から申請があり、新規申請者が４者７品目、使用許諾されている者の９者が製品の追加６品目、履歴の追加２品目、数量の追加 13 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、13 者に対し、10 月２日（木）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 （表示責任者名）	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 （繭生産地・企業等）
（新規） 株式会社カインドウェア 代表者名：渡邊喜雄 （担当者：宮本利枝、稲東拓朗） 〒 101-0031 東京都千代田区東神田 2-2-5 ℡：03-3864-2911 表示者登録番号　198	ストール	７５枚	蚕品種　白繭細１号 繭生産　JA 上伊那・ JA みなみ信州管内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 製　織　（株）東野東吉織物 染　色　藤崎染工（株） 縫　製　（株）パリオ服飾
	ネクタイ	１００本	蚕品種　白繭細１号 繭生産　JA 上伊那・ JA みなみ信州管内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 製　織　（株）東野東吉織物 染　色　藤崎染工（株） 縫　製　千代田ネクタイ（株）
（新規） 株式会社新田 代表者名：新田英行 （担当者：新田英行） 〒 992-0053 山形県米沢市松が岬 2-3-36 ℡：0238-23-7717 表示者登録番号　199	後染反物 （ぼかし着尺）	２０反	蚕品種　蚕技研１１号 繭生産　JA 常陸管内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 製　織　こめはな織物 染　色　自社
（製品の追加） 株式会社三越伊勢丹 代表者名：大西洋 （担当者：大枝篤史） 〒 160-8011 東京都新宿区新宿 3-14-1 ℡：03-3352-1111 表示者登録番号　187	帯締 羽織紐	１５０本 ５０本	制作企画　（株）龍工房 蚕品種　三煌 蚕種製造　（株）高原社 繭生産　JA 上伊那・ JA みなみ信州管内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 染色・組加工　（株）龍工房
（新規） 株式会社夢工芸染の新井 代表者名：新井重男 （担当者：新井重男） 〒 123-0863 東京都足立区谷在家 1-8-1 ℡：03-3854-2777 表示者登録番号　196	白生地 （変り縮緬）	１０反	繭生産　JA 常陸管内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 製　織　南久ちりめん（株）
	先染反物 （大島紬）	２反	繭生産　牛山金一（長野県茅野市） 製　糸　松澤製糸所 染　織　（有）益田織物

純国産絹マーク使用許諾企業名 （表示責任者名）	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 （繭生産地・企業等）
（新規） 株式会社嵯が野 代表者名：野田幸雄 （担当者：野田幸雄） 〒350-1109 埼玉県川越市霞ケ関北3-1-11 ℡：049-233-1391 表示者登録番号　197	白生地 （変り縮緬）	１０反	繭生産　JAいるま野管内養蚕農家 製　糸　松澤製糸所 製　織　南久ちりめん（株）
	先染反物 （大島紬）	２反	繭生産　JAいるま野管内養蚕農家 製　糸　松澤製糸所 染　織　（有）益田織物
（製品・数量の追加） 有限会社山田呉服店 代表者名：山田恒 （担当者：山田恒） 〒392-0004 長野県諏訪市諏訪1-3-4 ℡：0266-58-0694 表示者登録番号　174	（数量の追加） 白生地 （変り縮緬）	１０反	繭生産　牛山金一（長野県茅野市） 製　糸　松澤製糸所 製　織　南久ちりめん（株）
	（製品の追加） 先染反物 （大島紬）	２反	繭生産　牛山金一（長野県茅野市） 製　糸　松澤製糸所 染　織　（有）益田織物
（製品の追加） 渡豊工房 代表者名：渡辺豊一 （担当者：渡辺豊一） 〒990-0301 山形県東村山郡山辺町山辺892-1 ℡：023-664-5405 表示者登録番号　190	裏地（紬八掛）	３５６枚	蚕品種　錦秋×鐘和 繭生産　JAみやぎ仙南管内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 撚　糸　梅津撚糸工場 精練染色　佐米染色（有） 製　織　自工房
（数量の追加） 株式会社平田組紐 代表者名：平田晃 （担当者：平田武士） 〒171-0051 東京都豊島区長崎4-12-2 ℡：03-3959-2914 表示者登録番号　097	帯締 羽織紐（男物） 羽織紐（女物）	21,000本 1,５００本 1,５００本	企　画　（有）いのうえ 蚕品種　ぐんま２００ 繭生産　JA多野藤岡・ JAにったみどり管内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 組加工　自社
（数量・製品の追加） 田中種株式会社 代表者名：田中隆 （担当者：田中隆） 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル３階 ℡：06-6261-2091 表示者登録番号　060	ニット （数量の追加） （アーム） （ショルダー） （製品の追加） （タンクトップ） （数量の追加） （ネック＆ボディ）	 ３００枚 ２００枚 １００枚 ４５０枚	繭生産　JAにったみどり管内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 撚糸　昭和撚糸工業（株） 精練・染色　（株）山嘉精練 製編・縫製　髙井ニット（株）
（数量の追加） 株式会社布屋呉服店 代表者名：小長井宏員 （担当者：小長井宏員） 〒418-0056 静岡県富士宮市西町5-21 ℡：0544-27-2580 表示者登録番号　144	後染反物 （紋意匠・小紋）	２０反	制作企画　田中種（株） 繭生産　JAにったみどり管内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 製　織　芝井（株） 染　色　髙田勝（株）

純国産絹マーク使用許諾企業名 （表示責任者名）	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 （繭生産地・企業等）
（履歴・製品の追加） 株式会社伊と幸 代表者名：伊藤公一 （担当者：北川幸） 〒 604-8176 京都市中京区龍池町 448-2 ℡：075-211-2361 表示者登録番号　035	（履歴の追加） 白生地 （無地意匠・色無地） （絽・色無地）	 ５０反 ５０反	蚕品種　松岡姫 繭生産　JA みちのく安達管内養蚕農家 製　糸　松岡（株） 製　織　江口機業（株）
	（製品の追加） 長襦袢地	１０反	蚕品種　松岡姫 繭生産　JA みちのく安達管内養蚕農家 製　糸　松岡（株） 製　織　河見保織物 染　色　小西染色工芸
（数量の追加） 日本蚕糸絹業開発協同組合 代表者名：小林幸夫 （担当者：土井芳文） 〒 370-0006 群馬県高崎市問屋町 3-5-3 ℡：027-361-2377 表示者登録番号　021	白生地（紋意匠）	５５反	制作企画　絹小沢（株） 蚕品種　上州絹星・ぐんま 200 繭生産　群馬県内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 製　織　江原産業（株） 精練加工　丹後織物工業組合
	後染反物 （紋付地） 後染反物 （駒絽紋付地）	４０反 ４０反	制作企画　絹小沢（株） 蚕品種　世紀二一 繭生産　JA 碓氷安中・ JA 甘楽富岡管内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 製　織　坪金工業（株） 染色加工　（株）京都紋付
	裏地（胴裏絹）	２１０枚	制作企画　絹小沢（株） 蚕品種　世紀二一・ぐんま 200 繭生産　群馬県内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 製　織　（有）長島織物 精　練　（有）青池 加　工　キヌテック（株）
（数量の追加） 株式会社パールトーン 代表者名：由本敏次 （担当者：中西憲治） 〒 615-0044 京都市右京区西院西中水町 22 ℡：075-312-1121 表示者登録番号　183	裏地（胴裏絹）	１２６枚	制作企画　日本蚕糸絹業開発（協） 繭生産　群馬県内養蚕農家 製　糸　碓氷製糸農協 製　織　（有）長島織物 精　練　（有）江島屋染工場 加　工　自社

〔№ 38 号 2014. 9 号の記事訂正〕

次の記事に誤りがありましたので、訂正します。

○ P.16 の左段９～ 11 行目「在来の桑品種”あれこれ”」の記事の中

誤：蓮根の大桑（群馬県沼田市：天然記念物）は樹齢 1,000 年以上とあり、

正：薄根の大桑（群馬県沼田市：天然記念物）は樹齢 1,500 年以上とあり、

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧

平成 26 年 9 月 25 日（H26– 第 3 次）現在

表示者登録番号	企　業　名	所　在　地	主　な　絹　製　品　名
001	（株）千總	京都市中京区	後染反物（振袖、訪問着、付下、色無地、留袖、黒留袖、喪服）、胴裏
002	（株）織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	（株）丸上	東京都中央区	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、後染帯地
005	（株）坂本屋	茨城県土浦市	後染反物（色無地）、胴裏（灰汁浸け加工）
006	（有）平原	福島県白河市	後染反物（色無地、黒紋付）
007	（株）信盛堂	東京都清瀬市	後染反物（色無地、黒紋付）
008	（株）きものアイ	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
009	（株）上庵	岩手県北上市	後染反物（色無地、黒紋付）
010	（有）樹（いづき）	秋田県横手市	後染反物（色無地、黒紋付）
011	（株）銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物（大島紬、結城紬、御召、作家作品）、先染帯地（織九寸帯、織角帯、作家作品）、白生地、和装小物（帯締、羽織紐）、八掛、胴裏
012	河瀬満織物（株）	京都市上京区	先染帯地
013	（有）織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	（株）結華	静岡県清水町	後染反物（色無地、黒紋付）
016	（株）絹回廊	東京都中央区	後染反物（色無地）
017	（有）琴路屋	岩手県釜石市	後染反物（色無地、黒紋付）
018	（有）大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
019	丸善本店	福島県いわき市	後染反物（色無地、黒紋付）、白生地（表地）
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物（色無地、黒紋付）
021	日本蚕糸絹業開発協同組合（絹小沢（株））	群馬県高崎市	裏地（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200、灰汁浸加工、トルマリン加工）、八掛、比翼地）、長襦袢地、後染反物（作家作品、紋付地）、白生地（世紀二一、上州絹星・ぐんま 200, 新小石丸）、後染帯地（(冬物・夏物)：うるし糸が５％を超えるもの）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、和装小物（袱紗）
022	宮階織物（株）	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21 世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物（色無地、訪問着）、先染帯地（袋帯（草木染、唐織））
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物（有）	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地（袋帯、名古屋帯）、先染反物（御召類）、後染反物（色無地）、先染帯地（袋帯：金銀糸が５％を超えるもの）
027	（有）織道楽塩野屋	京都市上京区	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー、腹巻、手袋、靴下））

表示者登録番号	企　業　名	所在地	主な絹製品名
028	（株）丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物（江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地）、後染帯地
029	（株）むらかね	青森県八戸市	後染反物（色無地、黒紋付）
030	（株）髙島屋	東京都中央区	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、白生地（長襦袢地、胴裏）、ニット（靴下）
031	（株）さが美	横浜市港南区	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）
032	（有）まるけい	静岡県富士市	後染反物（色無地、黒紋付）
033	(有)特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物（色無地、黒紋付）
034	（株）小いけ	山形県鶴岡市	後染反物（色無地、黒紋付、小紋）
035	（株）伊と幸	京都市中京区	後染反物（色無地）、白生地（表地、胴裏、帯地）、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
037	（株）和幸	埼玉県久喜市	後染反物（色無地、黒紋付）
038	（株）桝屋髙尾	京都市北区	先染帯地（袋帯）
039	（株）つるや	埼玉県川越市	後染反物（色無地、黒紋付）、白生地（表地）
040	（株）越後屋	千葉県市川市	後染反物（色無地、黒紋付）
041	（株）小倉商店	茨城県結城市	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）、白生地（結城紬）
042	染織家柳崇	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	染織家児玉京子	沖縄県竹富町	先染反物
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染服地、ストール
045	手織りよおん　長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、ストール
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	（株）龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房　深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物（紋絽、絣）、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音（株）	京都市中京区	後染反物（色無地（変三越、駒絽））
051	やまと（株）	京都市下京区	後染反物
053	桜井（株）	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物（有）	京都市上京区	先染帯地
055	太田和（株）	京都市中京区	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）
056	（株）岩田	京都市中京区	先染帯地
057	（有）神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物（色無地、黒紋付）
058	浅山織物（株）	京都市北区	先染帯地
059	（株）やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地（金銀糸が５％を超えるもの）
060	田中種（株）	大阪市中央区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、黒紋付、加賀友禅、色無地）、後染帯地（九寸名古屋帯）、ニット（靴下、ネック＆ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻）

表示者登録番号	企　業　名	所在地	主な絹製品名
061	（株）京扇	東京都中央区	後染反物（色無地）、胴裏（パールトーン加工）
062	（株）なごみや	横浜市都筑区	後染反物（色無地、黒紋付）
063	丸池藤井（株）	京都市中京区	後染反物（色無地）、八掛
064	久保商事（株）	京都市中京区	和装小物（帯揚、半衿）
065	加賀グンゼ（株）	石川県小松市	胴裏
066	千切屋（株）	京都市中京区	後染反物（訪問着、付下）、後染帯地
067	荒川（株）	京都市下京区	和装小物（帯締、帯揚）
068	第一衣料（株）	東京都中央区	後染反物（色無地）
069	（株）紅輪	川崎市宮前区	後染反物（色無地）
070	装いの道（株）	東京都千代田区	白生地（帯地、表地）、胴裏（トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま200、新小石丸）
071	（株）髙橋屋	岩手県一関市	胴裏（灰汁浸加工）
072	おお又（株）	大阪市旭区	胴裏（灰汁浸加工）、ニット（靴下）
073	（株）天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏（ぐんま200（灰汁浸加工））、白生地（表地）
074	（株）きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏（パールトーン加工）
075	（株）とみひろ	山形県山形市	胴裏（酵素精練）
076	（株）細安	福井県福井市	胴裏（酵素精練）
077	京和きもの（株）	神奈川県厚木市	胴裏（酵素精練）
078	（株）まるため	長野県長野市	胴裏（トルマリン加工、パーリー加工）
079	（株）小川屋	群馬県前橋市	胴裏（トルマリン加工、灰汁浸加工）
080	（株）エムラ	山口県防府市	胴裏（酵素精練）
081	（株）荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏（酵素精練）
082	（株）牛島屋	富山県富山市	胴裏（酵素精練）、後染反物（小紋）
083	（株）谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏（酵素精練）
084	（株）登美屋	岩手県北上市	胴裏（パールトーン加工）
085	（株）川平屋	愛知県豊田市	胴裏（パールトーン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
086	丸専第一衣料（株）（丸専きもの）	新潟県長岡市	胴裏（パールトーン加工）
087	（株）大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地（胴裏、比翼地（振袖用））、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール
089	（株）あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品（ショール、マフラー）
090	藤井絞（株）	京都市中京区	後染反物（色無地）
092	（有）　結城屋	兵庫県洲本市	白生地（表地）
093	（株）　ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地（表地）

表示者登録番号	企　業　名	所在地	主な絹製品名
095	（有）カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品（冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット）、洋装品（スーツ地、ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、シャツ））
096	（株）北尾織物匠	京都市上京区	先染帯地（袋帯、名古屋帯）
097	（株）平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締（金銀糸が5%を超えるもの）、羽織紐（男物、女物）
098	（株）菱健	京都市中京区	後染反物（色無地）
099	西野（株）	京都市上京区	帯締、帯締（金銀糸が5%を超えるもの）
100	京商（株）	鳥取県米子市	後染反物（色無地、黒紋付）
101	（株）猪井	新潟県長岡市	後染反物（色無地）、後染帯地
102	（株）たちばな	新潟県新発田市	後染反物（色無地）、後染帯地
103	（株）丸富美	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
104	(株) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物（色無地）
105	（株）山正山﨑	愛知県豊橋市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物（色無地）
107	（株）染織近藤	岡山市北区	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
108	（株）宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物（色無地、付下）
109	（株）和らいふ	札幌市中央区	後染反物（色無地）
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物（色無地）
111	（株）世きね	東京都中央区	後染反物
112	（株）西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地（袋帯（金銀糸が5%を超えるもの）、九寸帯（金銀糸が5%を超えるもの）、絽九寸帯（金銀糸が5%を超えるもの））
113	奥順（株）	茨城県結城市	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール（天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド）
115	（有）金屋	新潟県上越市	後染反物（色無地）
116	（株）鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏（酵素精練）、先染反物（結城紬）
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物（黄八丈）
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物（色無地）
119	（資）車屋呉服店	横浜市南区	後染反物（色無地、江戸小紋）、白生地（表地）
120	宮崎（株）	茨城県結城市	先染反物（結城紬）
121	（有）内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地（表地（色無地、訪問着））
122	長島繊維（株）	栃木県足利市	後染反物（色無地、小紋、付下、訪問着）、後染帯地
123	（株）しょう美	広島市西区	後染反物（色無地）
124	（資）治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物（色無地）
125	（株）丸十	大阪府東大阪市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）

表示者登録番号	企　業　名	所在地	主な絹製品名
126	（株）竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏（酵素精練）
127	（有）樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地（表地用（紋意匠））
128	大門屋	福井県大野市	白生地（牛首紬）、後染帯地（牛首紬）、ショール（牛首紬）
129	（株）加藤萬	東京都中央区	和装小物（帯揚、半衿）
130	（株）しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物（小紋）
131	（資）山中商店	名古屋市中区	後染反物（小紋）
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物（小紋）
133	西川産業（株）	東京都中央区	寝具寝装品（掛布団）
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣（長肌着、短肌着）
136	（株）和想	鳥取県鳥取市	後染反物（小紋）
137	（株）髙島屋呉服店	島根県益田市	後染反物（小紋）
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー（手織り）
139	（株）丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物（小紋）
140	（株）染織館	徳島県徳島市	後染反物（小紋）
141	（株）京ろまん	奈良県奈良市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）
142	五嶋（株）	東京都文京区	帯締
143	（株）わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	（株）布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏（トルマリン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
145	（有）明石屋	東京都調布市	後染反物（色無地）、後染帯地
146	宮井（株）	京都市中京区	風呂敷
147	（株）ナカノ	大分県大分市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、加賀友禅）
148	（株）芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
149	（株）甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、トランクス）、パジャマ、袱紗
150	（有）さいとう呉服店	千葉県市川市	後染反物（色無地、付下）
151	（株）西松屋	兵庫県姫路市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
152	（株）西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
153	勝山織物（株）	京都市北区	先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）
154	（有）石川	群馬県みどり市	後染反物（型友禅、羽二重色無地）、先染反物（ジャガード織）
155	東朋（株）	京都府与謝野町	ストール
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
157	（株）ふじや	福岡県朝倉市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物（小紋）
159	（株）ＪＳ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品（ふとん、ふとんカバー）、洋装品（スーツ地、コート地、スカート地、シャツ）、服飾品（スカーフ、ストール）

表示者登録番号	企　業　名	所在地	主な絹製品名
160	（株）マルシバ	東京都中央区	裏地（胴裏）、和装小物（袱紗）
161	（株）みつわ	大阪府大東市	後染反物（小紋）
162	福絖織物（株）	福岡市西区	先染帯地（本袋男帯、八寸名古屋帯）
163	（株）大谷屋	新潟市中央区	白生地(表地)
164	（株）東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地(表地)
165	（株）染織こうげい	東京都中央区	白生地(表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品（布団、膝かけ）
167	（株）にしむら	兵庫県西脇市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
168	(有)きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
169	（株）コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））、ニット（靴下）
170	（株）つたや	大阪府枚方市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
172	（株）マエノ	茨城県石岡市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
173	（株）本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
174	（有）山田呉服店	長野県諏訪市	白生地（変り縮緬）、先染反物（大島紬）
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
176	（株）京呉服平田	福井県福井市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物（置賜紬）、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物（大島紬）、先染帯地（大島紬）
179	（株）宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地（八寸名古屋帯）
180	（有）シンセイ	長野県松本市	ニット（腹巻、靴下）
181	（株）百花	横浜市中区	後染反物（小紋（変一越））
182	京呉服好一（株）	京都市北区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
183	（株）パールトーン	京都市右京区	胴裏（パールトーン加工）
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物（小紋（変一越））
185	マテリアル ローブ 麿	東京都練馬区	後染反物（小紋（変一越））
186	（株）せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物（小紋（変一越））
187	（株）三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地（表地）、帯締、羽織紐
188	青山きもの（株）	東京都港区	白生地（表地）
189	ニット青木（株）	東京都品川区	ニット（スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー）
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物（綾御召（男物、女物））、裏地（紬八掛）

表示者登録番号	企　業　名	所　在　地	主　な　絹　製　品　名
191	（株）リンクピース	福岡市博多区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠)）
192	きもの宮下 (（有）新宮)	宮崎県宮崎市	後染反物（小紋（変一越)）
193	アトリエITO　伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房　築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	染織家　杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	（株）夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地（変り縮緬)、先染反物（大島紬）
197	（株）嵯が野	埼玉県川越市	白生地（変り縮緬)、先染反物（大島紬）
198	（株）カインドウェア	東京都千代田区	ストール、ネクタイ
199	（株）新田	山形県米沢市	後染反物（ぼかし着尺）

提携支援センター活動日誌　　No. 39（H26.9.1 ～ H26.11.1）

年月日	活　動　内　容　等
26.9.2 ～ 26.9.3	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る提携グループ等との打合せ （京都府）
26.9.9	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る養蚕資材の供給打合せ（茨城県）
26.9.18 ～ 26.9.19	世界遺産登録記念事業 絹の郷シンポジウム＆蚕糸現場見学会への出席（群馬県）
26.9.25	純国産絹マーク審査委員会（平成 26 年度第 3 次） （東京都有楽町　蚕糸会館）
26.9.26	第 70 回蚕糸功労者等表彰式（東京都有楽町　東京會舘）
26.10.7	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る稚蚕共同飼育所検討会（埼玉県）
26.10.15 ～ 26.10.21	純国産宝絹展（東京都中央区　日本橋三越本店）
26.10.31 ～ 26.11.1	農林水産祭実りのフェスティバル（東京都豊島区　サンシャインシティ）

イベント情報

イベント名	企画・展示内容	開催日（期間）	場所・主催者等
純国産絹製品の紹介	（染織作家） 山村多榮子氏の蚕品種ぐんま 200を使用したストール、先染反物、先染服地、先染帯などを展示。同氏は、国際貝紫研究会、野蚕学会、日本工芸会、八王子ファッション協議会の会員として活動しています。	＜会期＞ 平成26年11月10日（月）～11月26日（水） ＜開催時間＞ 10：00～18：00	主催：ジャパンシルクセンター 会場：ジャパンシルクセンター 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館１階 TEL：03-3215-1212 FAX：03-3214-1700
	（ニット製品） ニット青木（株）のスーツ、パンツ、スカート、ジャケット、アンサンブル、インナーを展示。シンプルなオリジナルデザインでエレガントにもドレッシーにもコーディネイト次第で楽しめる高級感あふれるシルクニットです。あらゆる場面で活躍する女性に好評です。	＜会期＞ 平成26年12月8日（月）～12月24日（水） ＜開催時間＞ 10：00～18：00	
第27回絹まつり 冬のセール	夏、冬にシルク製品のモニター展示販売する冬のイベントです。コンセプトは、「デイリーシルク（絹を日常に！）」であり、冬向きのブラウス、肌着、スカーフ、ストール、ソックス、石鹸などを提供します。	＜日時＞ 平成26年12月1日（月）～12月4日（木） 10：00～18：30、最終日は17：00まで	
きものサミットIN東京	サミット会議 ＜基調講演＞ 「世界に冠たる日本文化」 ＜パネルディスカッション＞ 「きものの無形文化遺産を目指して」	＜日時＞ 平成26年11月10日（月） 10：00～12：00 ＜会場＞ 日本橋三井ホール５階 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1 COREDO室町 TEL：03-5200-3210	＜主催＞ きものサミットIN東京 ＜連絡先＞ 西陣織工業組合 〒602-8216 京都府京都市上京区堅門前町414番地 TEL：075-432-6131

イベント名	企画・展示内容	開催日（期間）・場所	主催者等
世界遺産登録記念講演会と富岡製糸場工女まつり	＜講演会＞ 「日本の蚕糸のものがたり」 ＜富岡製糸場工女がたり＞ 工女のはかま姿で、きものを着て、絹リメイク服で、ブリュナやブリュナ夫人で、尾高淳忠、渋沢栄一、伊藤博文等の製糸場ゆかりの人物になりきって行列に参加しませんか? 集合 12：00　上州富岡駅前広場に集合し、受付、説明を受ける（着付け/10：00～希望者は店舗または、あい愛プラザで着付け（全部レンタル or 持参）） 出発 12：30 駅前ー宮本町ー城町 到着 14：00 製糸場西繭倉庫を背に並び撮影 解散 14：20 解散後、街中散策か製糸場見学、もしくはコンサート ＜シャンソン・シルクコンサート in 富岡製糸場＞	＜日時＞ 平成26年11月22日(土) ＜講演会＞ 開演：10：30～12：00 （開場 10：00） ＜会場＞ 富岡製糸場東繭倉庫 定員：200 名 ＜富岡製糸場工女まつり＞ 定員：200 名 ＜シャンソン・シルクコンサート in 富岡製糸場＞ 定員：200 名 （行列参加者優先）	＜主催＞ NPO 法人富岡製糸場を愛する会 ＜お問合せ＞ NPO 法人富岡製糸場を愛する会事務局 TEL：090-8000-6581 （平日 10：00～16：00） FAX:027-326-5522 絹ごよみ TEL：0274-67-7526 （10：00～16：00） 「講演会」は、事前申込が優先、当日 10：00～製糸場入口で整理券を配布。 「富岡製糸場工女まつり」は、11 月 14 日までに要申込。
京糸教室	―次世代型繊維への挑戦― ＜講演＞ 「“QMONOS”実用化への挑戦」 「人と環境に優しいシルクコンポジット」 ＜パネルディスカッション＞ 「バイオプラスチックの将来」―細胞培養基材と将来的な医療応用に向けた遺伝子組み換え SILK 繊維―	＜日時＞ 平成26年11月22日(土) 13：00～17：45 終了後懇親会あり ＜会場＞ 京都工芸繊維大学 60 周年記念会館	＜主催＞ 京都原糸商協同組合、京都工芸繊維大学、京都工芸繊維大学繊維学部衣笠同窓会 ＜連絡先＞ 京都原糸商協同組合 〒602-8216 京都府京都市上京区竪門前町 414 番地　西陣織会館 7 階 TEL：075-431-7185

イベント名	企画・展示内容	開催日（期間）・場所	主催者等
小山きものの日	小山市の伝統産業「本場結城紬」がユネスコ無形文化遺産に登録された11月16日を「小山きものの日」とし、催しを開催。 ・本場結城紬展示会 ・地機織り、糸つむぎ実演 ・大茶会 ・琴演奏 ＜講演＞ 「丹後織物業者の取組み『TANGO+』について」	＜日時＞ 平成26年11月16日(日) 11：00～16：00 ＜会場＞ 文化センター・中央公民館	＜主催＞ 市制60周年・本場結城紬ユネスコ無形文化遺産登録4周年記念事業実行委員会 ＜お問合せ＞ 小山市経済部工業振興課 〒323-8686 栃木県小山市中央町1-1-1 TEL：0285-22-9397・9399
日本の色・かたち～吉田サチ子のパッチワークキルトの世界～ （日本絹の里第30回企画展）	絹やきものの古裂を素材に使い作品を創作する、国内外で活躍中のキルト作家・吉田サチ子氏の作品を紹介。キルト作品として、代表作「日本の色QUARTET」「TSUNAGU」のほか、額装キルト、袋物などの小作品も展示。	＜日時＞ 平成26年10月19日～12月8日（月） 9：30～17：00 休館日：毎週火曜日（10/28（群馬県民の日）は無料開館）	＜主催＞ 群馬県立日本絹の里 ＜お問合せ＞ 日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 TEL：027-360-6300

イベント名	企画・展示内容	開催日（期間）・場所	主催者等
シルクサミット2014 in シルクファクトおかや ―蚕糸の歴史に学び、未来を思考する―	2001年第1回のシルク・ミュージアム・サミットを岡谷で開催したのを皮切りに、その後全国の蚕糸絹産地を巡ってきました。今回、岡谷蚕糸博物館リニューアルオープンを記念し、シルクサミットを開催します。 第1日目（11/28） ＜基調講演＞ 「岡谷蚕糸博物館―シルクファクトおかや―の見どころ」 ＜特別講演＞ 「シルクストッキングの記憶」 「18世紀ロココの宮廷衣裳の復元―絹の風合いを求めて―」 ＜研究活動報告＞ 「カイコ学習から教わったもの」 「セリシン蚕を利用した化粧品・機能性食品への応用展開」 「カイコが作るクモ糸シルクの利用」 「岡谷絹工房の活動とこれからの方向」 2日目（11/29） ＜見学会＞ ・岡谷蚕糸博物館―シルクファクトおかや― ・岡谷近代化産業遺産巡り	＜開催日＞ 平成26年11月28日（金）、29日（土） 11月28日（金）は13：00～18：00 11月29日（土）は9：00～12：00 ＜会場＞ 岡谷商工会議所（3階大会議室）、岡谷蚕糸博物館	＜主催＞ （独）農業生物資源研究所ほか ＜問合せ先＞ 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田1-4-8 TEL0266-23-3489 農業生物資源研究所事務局 TEL029-838-6101

イベント名	企画・展示内容	開催日（期間）・場所	主催者等
第 23 回全国染織作品展	絹を用いた染織作品を広く全国から公募し、専門家による審査のうえ、その入選作品を一堂に展観して、次代をになう新進作家の育成及び染織技術の向上と服飾文化の発展を図るとともに、絹の需要増進に寄与することを目的とする展示。 ＜内容＞ ◇全国公募による入選作品 78 点 ◇手描友禅色挿し体験 ・11 月 1 日（土）10：00～11：30、13：00～14：30 ・11 月 2 日（日）10：00～11：30、13：00～14：30 ◇くみひも実演 11 月 8 日（土）・22 日（土）10：00 分～11：30、13：00～15：00	＜開催日＞ 平成26年10月11日(土)～11 月 24 日（月・祝）(39 日間) 休館：10 月 14 日（火）・20 日（月）・27 日（月）・11 月 4 日（火）・10 日（月）・17 日（月） 午前 9 時～午後 4 時 30 分まで(入館は 4 時まで)	＜主催＞ シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町 1 番地 シルクセンター2 階 TEL：045-641-0841 ＜お問合せ＞ 同上
手作り真綿の講習会	○講習会 ・真綿作り ・太糸作り ・手紬糸作り	＜日時＞ 平成 27 年 2 月 6 日（金）～8 日（日） 10：00～15：00	＜主催＞ シルク博物館 後援：(一財) 日本真綿協会 ＜会場＞ シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町 1 番地 （シルクセンター2 階） ＜申込先＞ シルク博物館 TEL045-641-0841
第 7 回現代手織物クラフト公募展	この公募展は、全国で独自の創作活動をしている織物のプロ、および将来プロを目指す方たちが創作した、独創的で優れた織物作品を展覧し、広く織物愛好家に 向けて紹介するとともに、自立の道を拓く支援の場となることを目的。	＜会期＞ 平成 26 年 10 月 9 日(木)～11 月 16 日（日） ＜会場＞ 駒ヶ根シルクミュージアム特別展示室	＜主催＞ 「現代手織物クラフト公募展」実行委員会 ＜会場＞ 駒ヶ根シルクミュージアム 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地 TEL：0265-82-8381

蚕糸絹関係博物館一覧

名　　称	〒	住　　所	電　話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 － 87	0238-23-3525
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 － 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館“紫”（ゆかり）	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館 （(一財）国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8　清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鑓水 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地　シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078　シナノケンシ（株）内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館 （シルクファクトおかや）	394-0021	長野県岡谷市郷田 1-4-8	0266-23-3489
常田館（絹の資料館）	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3　笠原工業（株）内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6　十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1-7-40	0779-87-1200
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109-1	0532-52-5265
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区御池通室町東入る竜池町 448-2　伊と幸ビル	075-254-5884
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町　グンゼ（株）周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246-2	079-669-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5-1	0287-36-0949
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561

名　　称	〒	住　　所	電　話
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399
日本司法博物館（松本歴史の里）	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水（科野の里歴史公園内）	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号（臥竜公園内）	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 － 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
結城紬関連施設（結城市伝統工芸館）	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「橡（つるばみ）」	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344-1235	027-340-6060
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2（大杉公園隣り）	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号（上田城跡公園内）	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館（織の文化館）	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房（織りの資料館）	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
手おりの里　金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡秦荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織元田勇（田勇機業株式会社）	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17-95	0234-31-0095
公益財団法人致道博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10-18	0235-22-1199
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫　992-1（群馬の森公園内）	027-346-5522

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行　政】

農林水産省	http://www.maff.go.jp
経済産業省	http://www.meti.go.jp

【蚕糸絹業関係団体】

（一財）大日本蚕糸会	http://www.silk.or.jp
（一財）大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター	http://www.silk-center.or.jp
（一財）日本絹人繊織物工業会	http://www.kinujinsen.com
（一財）日本真綿協会	http://www.mawata.or.jp
丹後織物工業組合	http://www.tanko.or.jp
西陣織工業組合	http://www.nishijin.or.jp
ＴＡＦＳ（東京織物卸商業組合）	http://www.tafs.or.jp
ＫＯＭＳ（京都織物卸商業組合）	http://www.fashion-kyoto.or.jp
（公財）京都和装産業振興財団	http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html
（一財）伝統的工芸品産業振興協会	http://www5.somard.co.jp
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会	http://takaraginu.com

【大学・試験研究機関】

（独）農業生物資源研究所	http://www.nias.affrc.go.jp
（国）北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室	http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html
（国）岩手大学農学部生命資源科学コース	http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/agri/life.html
（国）東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室	http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html
（国）東京農工大学農学部生物生産学科	http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan
（国）東京農工大学工学部生命工学科	http://www.tuat.ac.jp/~seimei
（国）名古屋大学農学部	http://www.agr.nagoya-u.ac.jp
（国）信州大学繊維学部	http://www.tex.shinshu-u.ac.jp
（国）京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程	http://www.bio.kit.ac.jp
（国）京都工芸繊維大学	http://www.kit.ac.jp
（国）山口大学農学部生物資源環境科学科	http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html
（国）九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室	http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku
群馬県蚕糸技術センター	http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html
群馬県繊維工業試験場	http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html
京都府織物・機械金属振興センター	http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html
（地独）京都市産業技術研究所	http://www.tc-kyoto.or.jp
（公財）衣笠繊維研究所	http://krf-textile.or.jp
（一財）大日本蚕糸会　蚕糸科学研究所	http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html
（一財）大日本蚕糸会　蚕業技術研究所	http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html

【学　会】

日本シルク学会	http://jssst.sakura.ne.jp
（一社）日本蚕糸学会	http://jsss.or.jp
日本野蚕学会	http://jswsmo.appspot.com

【博物館】

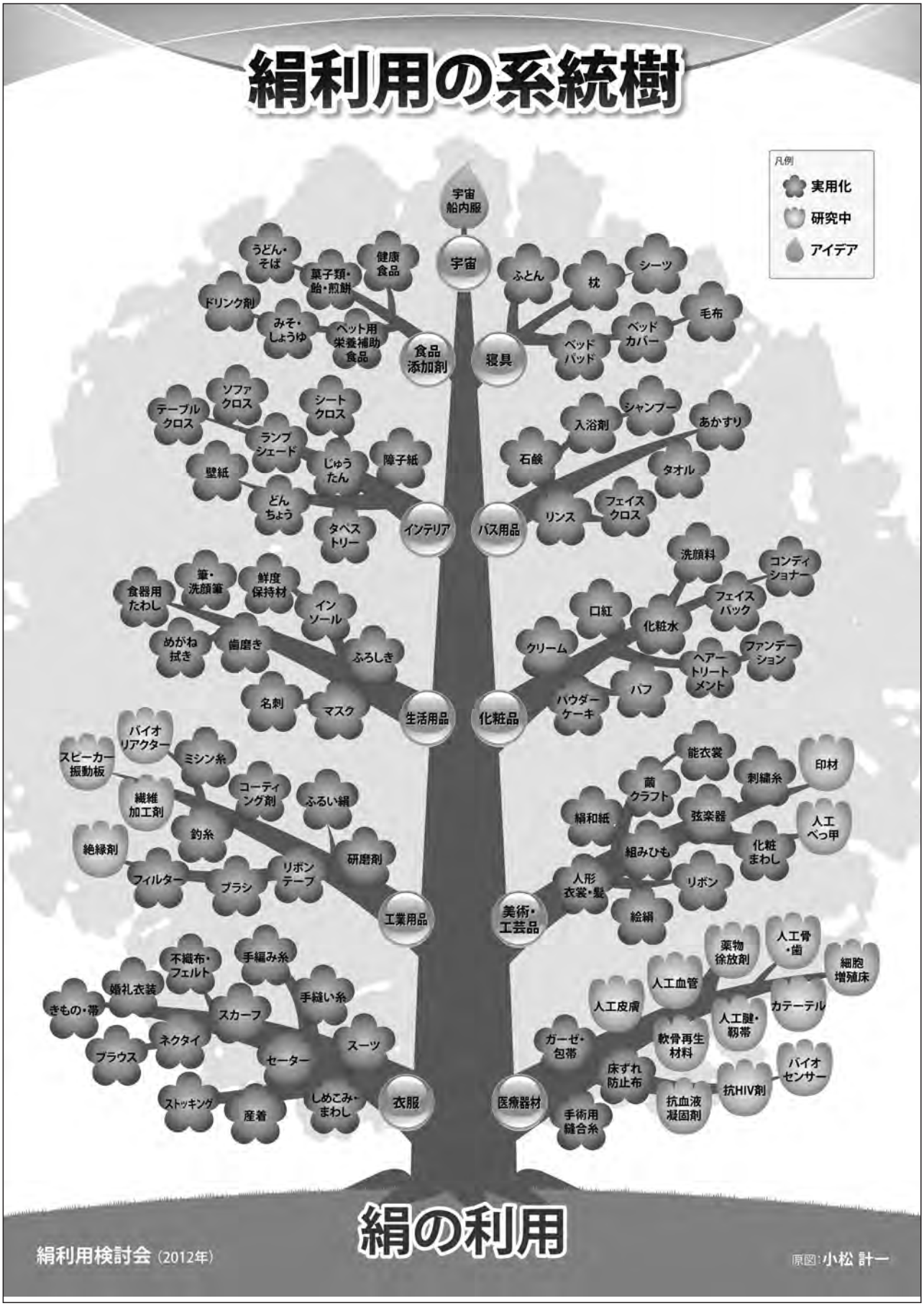
（一財）ｼﾙｸｾﾝﾀｰ国際貿易観光会館　ｼﾙｸ博物館	http://www.silkmuseum.or.jp
群馬県立日本絹の里	http://www.nippon-kinunosato.or.jp
愛媛県西予市野村シルク博物館	http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum
東京農工大学科学博物館	http://www.tuat.ac.jp/~museum

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム	http://www.cek.ne.jp/~shiruku
織成館（京都・上京）	http://orinasukan.skr.jp
高崎市染料植物園	http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/201401140097
群馬県立歴史博物館	http://grekisi.pref.gunma.jp
岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）	http://silkfact.jp
はたや記念館ゆめおーれ勝山	http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場	http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html
群馬県 企画部 世界遺産推進課	http://worldheritage.pref.gunma.jp/ja
ぐんま絹遺産	http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan
上毛新聞社関連記事	http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html


絹利用の系統樹
凡例
実用化
研究中
アイデア
宇宙
船内服
宇宙
食品添加剤
寝具
インテリア
バス用品
生活用品
化粧品
工業用品
美術・工芸品
衣服
医療器材
うどん・そば
菓子類・飴・煎餅
健康食品
ドリンク剤
みそ・しょうゆ
ペット用栄養補助食品
ふとん
枕
シーツ
毛布
ベッドカバー
ベッドパッド
ソファクロス
テーブルクロス
シートクロス
ランプシェード
壁紙
じゅうたん
障子紙
どんちょう
タペストリー
入浴剤
シャンプー
あかすり
石鹸
タオル
リンス
フェイスクロス
食器用たわし
筆・洗顔筆
鮮度保持材
インソール
めがね拭き
歯磨き
ふろしき
名刺
マスク
洗顔料
コンディショナー
口紅
フェイスパック
化粧水
クリーム
ヘアートリートメント
ファンデーション
パウダーケーキ
パフ
スピーカー振動板
バイオリアクター
ミシン糸
繊維加工剤
コーティング剤
ふるい絹
釣糸
絶縁剤
研磨剤
フィルター
ブラシ
リボンテープ
能衣裳
印材
刺繍糸
茜クラフト
絹和紙
弦楽器
人工べっ甲
組みひも
化粧まわし
人形衣裳・髪
リボン
絵絹
不織布・フェルト
手編み糸
婚礼衣装
手縫い糸
きもの・帯
スカーフ
ネクタイ
スーツ
ブラウス
セーター
ストッキング
産着
しめこみ・まわし
薬物徐放剤
人工骨・歯
細胞増殖床
人工血管
人工皮膚
カテーテル
人工腱・靭帯
ガーゼ・包帯
軟骨再生材料
バイオセンサー
床ずれ防止布
抗HIV剤
抗血液凝固剤
手術用縫合糸
絹の利用
絹利用検討会（2012年）
原図：小松 計一

統 計 資 料 目 次

＜国内＞

（1）蚕糸絹業の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
（2）養蚕農家数の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
（3）繭生産数量の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
（4）平成 25 年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数 ・・・・・・・・・・・・・・ 51
（5）平成 25 年度蚕期別、都府県別繭生産数量 ・・・・・・・・・・・・・・・ 52
（6）蚕品種別蚕種製造数量の推移（2010 ～ 2013 年） ・・・・・・・・・・・・ 53
（7）生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
（8）生糸の繊度別生産数量の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
（9）絹需給の推移（生糸量換算試算）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
（10）品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算） ・・・・・・・・・・・・・ 57
（11）製糸工場の原料繭需給 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
（12）製糸工場の操業状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
（13）生糸在庫数量の内訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
（14）蚕糸関係品目別輸入状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
（15）生糸の原産国別輸入数量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
（16）絹糸の原産国別輸入数量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
（17）生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価 ・・・・・・・・・・・・・ 64
（18）絹織物生産数量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
（19）丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
（20）全国全世帯被服類品目別消費支出状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

＜海外＞

（1）世界主要国の家蚕繭生産数量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
（2）世界主要国の家蚕生糸生産数量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
（3）中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数 ・・・・・・・・・・ 70
（4）中国省別家蚕繭生産数量の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
（5）中国のシルク類（生糸・絹糸・絹織物）の輸出状況 ・・・・・・・・・・・ 72
（6）中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格 ・・・・・・・・・・・・ 73
（7）中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率 ・・・・・・・・・・・・ 74
（8）中国企業別従業員年間平均賃金及び対前年増減率 ・・・・・・・・・・・・ 75
（9）中国産業別従業員年平均賃金の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
（10）中国省別従業員年平均賃金（2012 年）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
（11）ブラジルの繭・生糸生産数量の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
（12）ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79

－資料・国内－

(1)蚕糸絹業の概要
Outline of Sericultural, Silk-Reeling,and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item / 年次（暦年） Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家戸数 Number of Silk-Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸生産量 Raw Silk Production	運転工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人繊織機設備台数（保有台数） Number of Silk Loom	絹織物生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq.meters
（平成）								
1997 (9)	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
1998 (10)	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
1999 (11)	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
2000 (12)	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2001 (13)	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2002 (14)	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2003 (15)	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2004 (16)	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2005 (17)	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2006 (18)	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2007 (19)	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2008 (20)	1,021	382	374	1.6	7	80	38.1	14,043
2009 (21)	915	327	357	1.2	7	60	33.6	11,472
2010 (22)	756	265	351	0.9	7	49	35.9	11,612
2011 (23)	627	220	351	0.7	7	52	34.7	10,418
2012 (24)	571	202	354	0.5	7	35	33.3	9,974
2013 (25)	486	168	346	0.4	7	35	32.0	10,054
前年対比(%) 2013/12	85.1	83.2	97.6	80.0	100.0	100.0	96.1	100.8

資料 ・平成20年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。
・平成21年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査である。
・平成21年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査である。
・平成20年以前の絹業は経済産業省調査であり、平成21年以降絹業は(一社)日本絹人繊織物工業会調査である。
平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。
・平成23年以降の養蚕業は（一財）大日本蚕糸会調査である。
（注）製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、平成14年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
・National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009)
・Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(Silk-Reeling , after 2009)
・The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric ,before 2008)
・Japan Silk & Rayon Weaver's Association (Silk Fabric, after 2009)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills.(After 2002,all reeling mills)

(2)養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit：number)

項目 Item / 年次 Year	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1994	19,040	16,790	13,190	14,790
1995	13,640	12,450	9,560	9,580
1996	7,890	6,980	5,000	6,290
1997	6,310	5,650	4,420	5,120
1998	5,070	4,550	3,750	4,120
1999	4,030	3,600	2,710	3,280
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2001	2,730	2,410	1,870	2,270
2002	2,360	1,992	1,720	1,918
2003	2,070	1,875	1,503	1,751
2004	1,850	1,621	1,371	1,551
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2006	1,345	1,215	852	1,102
2007	1,169	1,052	726	988
2008	1,021	929	613	857
2009	915	814	647	755
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
対前年比 2013/12(%)	85.1	82.1	81.5	86.4

資　　料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、(一財)大日本蚕糸会調査(2009年～)。

Source　：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).
The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(3)繭生産数量の推移
Cocoon Production

項目 Item / 年次 Year	年計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
1994	7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170
1995	5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172
1996	3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173
1997	2,516	982	678	857	398	174	153	167
1998	1,980	769	588	623	390	169	157	151
1999	1,496	596	391	509	371	166	144	155
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001	1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002	880	330	231	320	373	166	134	167
2003	775	313	210	253	374	167	140	144
2004	675	256	176	243	369	158	128	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2006	505	209	122	173	375	172	143	157
2007	433	175	110	148	371	166	152	150
2008	382	147	96	139	374	158	157	162
2009	327	124	85	118	357	152	131	156
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	60	41	67	346	142	158	168
対前年比 2013/12(%)	83.2	75.9	82.0	91.8	97.6	91.7	101.1	105.6
2013年 構成比(%)	100.0	35.7	24.4	39.9				

資　料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、（一財)大日本蚕糸会調査(2009年～)。

Source　: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).
The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(4)平成25年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures in 2013

（単位:戸、%）

都府県名	春蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			年　間		
	24年	25年	前年対比	24年	25年	前年対比	24年	25年	前年対比	24年	25年	前年対比
青森県	0	0	−	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
岩手県	16	14	87.5	16	14	87.5	17	17	100.0	21	19	90.5
宮城県	18	17	94.4	11	10	90.9	17	13	76.5	21	21	100.0
山形県	7	7	100.0	6	6	100.0	7	6	85.7	8	8	100.0
福島県	58	53	91.4	50	23	46.0	57	57	100.0	65	58	89.2
茨城県	25	18	72.0	23	13	56.5	21	15	71.4	28	21	75.0
栃木県	27	22	81.5	21	17	81.0	26	23	88.5	27	26	96.3
群馬県	197	157	79.7	113	107	94.7	189	160	84.7	217	181	83.4
埼玉県	48	36	75.0	29	28	96.6	43	29	67.4	49	41	83.7
千葉県	9	7	77.8	6	5	83.3	8	7	87.5	12	7	58.3
東京都	4	4	100.0	0	0	−	5	4	80.0	6	5	83.3
新潟県	10	10	100.0	2	0	0.0	0	0	−	12	10	83.3
福井県	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
山梨県	23	9	39.1	8	7	87.5	18	13	72.2	24	15	62.5
長野県	16	21	131.3	16	16	100.0	14	18	128.6	22	22	100.0
岐阜県	17	13	76.5	0	0	−	14	12	85.7	17	13	76.5
愛知県	2	2	100.0	2	0	0.0	0	1	−	2	2	100.0
京都府	4	4	100.0	0	0	−	3	3	100.0	4	4	100.0
兵庫県	1	1	100.0	1	0	0.0	1	1	100.0	1	1	100.0
愛媛県	17	12	70.6	8	7	87.5	10	10	100.0	18	15	83.3
高知県	3	3	100.0	0	0	−	1	2	200.0	3	3	100.0
熊本県	7	6	85.7	0	0	−	5	3	60.0	7	7	100.0
宮崎県	2	2	100.0	2	2	100.0	1	0	0.0	2	2	100.0
鹿児島県	2	3	150.0	3	3	100.0	3	3	100.0	3	3	100.0
全国計	514	422	82.1	319	260	81.5	462	399	86.4	571	486	85.1

資料:(一財)大日本蚕糸会調査

Source:The Dainippon Silk Foundation

(5)平成25年度蚕期別、都府県別繭生産数量

Cocoon production by prefectures in 2013.

（単位：kg、%）

都府県等	春蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			年間		
	24年	25年	前年対比	24年	25年	前年対比	24年	25年	前年対比	24年	25年	前年対比
青森県	-	-	-	157.2	119.3	75.9%	131.8	151.9	115.3%	289.0	271.2	93.8%
岩手県	1,858.5	1,928.5	103.8%	2,968.4	2,348.0	79.1%	2,225.8	2,597.2	116.7%	7,052.7	6,873.7	97.5%
宮城県	2,305.8	2,369.7	102.8%	2,313.1	2,242.6	97.0%	2,633.0	2,699.2	102.5%	7,251.9	7,311.5	100.8%
山形県	1,200.6	1,311.0	109.2%	1,013.7	821.9	81.1%	1,603.9	1,482.0	92.4%	3,818.2	3,614.9	94.7%
福島県	10,681.1	10,475.9	98.1%	10,834.8	9,996.8	92.3%	14,384.8	13,435.7	93.4%	35,900.7	33,908.4	94.5%
茨城県	3,817.2	2,925.2	76.6%	2,478.9	1,499.5	60.5%	2,704.4	2,652.3	98.1%	9,000.5	7,077.0	78.6%
栃木県	7,663.1	5,923.3	77.3%	4,262.8	4,015.9	94.2%	9,605.6	9,809.9	102.1%	21,531.5	19,749.1	91.7%
群馬県	34,931.3	21,487.6	61.5%	17,645.8	13,463.2	76.3%	27,792.0	22,606.5	81.3%	80,374.1	57,557.3	71.6%
埼玉県	6,520.4	5,215.7	80.0%	2,593.8	2,854.0	110.0%	4,757.8	4,657.7	97.9%	13,872.0	12,727.4	91.7%
千葉県	1,213.3	917.5	75.6%	633.0	490.4	77.5%	944.4	1,028.4	108.9%	2,790.7	2,436.3	87.3%
東京都	235.1	242.3	103.1%	-	-	-	178.5	165.1	92.5%	413.6	407.4	98.5%
山梨県	2,978.8	2,157.8	72.4%	1,095.3	420.6	38.4%	1,769.2	1,495.4	84.5%	5,843.3	4,073.8	69.7%
長野県	2,129.2	1,951.5	91.7%	1,855.0	1,413.7	76.2%	1,974.1	1,864.9	94.5%	5,958.3	5,230.1	87.8%
新潟県	159.8	131.9	82.5%	-	-	-	-	-	-	159.8	131.9	82.5%
福井県	32.2	27.6	85.7%	18.9	14.3	51.6%	34.3	37.6	109.6%	85.4	79.5	93.1%
岐阜県	874.9	803.1	91.8%	-	-	-	605.0	439.0	72.6%	1,479.9	1,242.1	83.9%
愛知県	36.9	80.5	218.2%	62.0	0.0	-	-	17.7	-	98.9	98.2	99.3%
兵庫県	75.0	40.0	53.3%	38.2	0.0	-	41.5	35.0	84.3%	154.7	75.0	48.5%
京都府	102.5	102.9	100.4%	-	-	-	77.0	40.8	53.0%	179.5	143.7	80.1%
愛媛県	1,789.7	1,753.0	97.9%	1,551.1	1,005.8	64.8%	1,386.4	1,186.9	85.6%	4,727.2	3,945.7	83.5%
高知県	168.7	162.0	96.0%	-	-	-	15.3	16.0	104.6%	184.0	178.0	96.7%
熊本県	449.1	463.3	103.2%	-	-	-	347.9	340.1	97.8%	797.0	803.4	100.8%
宮崎県	120.4	88.1	73.2%	-	-	-	62.9	95.6	152.0%	183.2	183.7	100.3%
鹿児島県	49.5	46.6	94.1%	69.0	43.3	62.8%	51.0	57.5	112.7%	169.5	147.4	87.0%
全国計	79,393.1	60,604.8	76.3%	49,591.0	40,749.3	82.2%	73,331.6	66,912.4	91.2%	202,315.6	168,266.4	83.2%

資料:(一財)大日本蚕糸会調査

Source: The Dainippon Silk Foundation

(6)蚕品種別蚕種製造数量の推移（2010～2013年）
Production by Sort of Silk-Worm Eggs

Item ＼ Year	2010年（平成22年）		2011年（平成23年）		2012年（平成24年）		2013年（平成25年）	
	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦秋×鐘和	2,400	18.4	2,100	19.0	1,818	17.8	3,221	28.8
錦秋1号×鐘和1号	3,420	26.2	2,729	24.6	2,806	27.6	2,450	21.9
春嶺×鐘月	1,001	7.7	1,002	9.0	838	8.2	1,871	16.7
ぐんま２００	1,627	12.5	1,388	12.5	1,443	14.2	1,125	10.1
松岡姫	200	1.5	300	2.7	340	3.3	547	4.9
春嶺1号×鐘月1号	2,072	15.9	1,419	12.8	1,175	11.5	380	3.4
新小石丸	355	2.7	396	3.6	324	3.2	317	2.8
かいりょう×あけぼの	487	3.7	435	3.9	416	4.1	166	1.5
いろどり	39	0.3	134	1.2	55	0.5	111	1.0
白麗							92	0.8
白繭細1号	115	0.9	77	0.7	93	0.9	85	0.8
小石丸	75	0.6	72	0.6	67	0.7	76	0.7
プラチナボーイ	73	0.6	66	0.6	64	0.6	76	0.7
世紀ニー	191	1.5	132	1.2	95	0.9	71	0.6
朝日×東海			50	0.5	50	0.5	67	0.6
ぐんま黄金	152	1.2	76	0.7	70	0.7	64	0.6
大寶×黄金							63	0.6
蚕技研11号	53	0.4	52	0.5	36	0.4	53	0.5
太平×長安	7	0.1	13	0.1	28	0.3	49	0.4
改良小石丸	87	0.7	78	0.7	33	0.3	48	0.4
ぐんま細							47	0.4
黄白	5	0.0	15	0.1	33	0.3	42	0.4
緑繭2号					7	0.1	41	0.4
緑繭1号	56	0.4	62	0.6	27	0.3	33	0.3
極細1号	30	0.2	5	0.0	15	0.1	21	0.2
玉小石	16	0.1	22	0.2	15	0.1	17	0.2
鷹山	25	0.2	20	0.2	5	0.0	9	0.1
支108号×青熟	5	0.0	7	0.1	7	0.1	8	0.1
山東３眠×Ｃ5・507							7	0.1
青熟×支21号	6	0.0	8	0.1	7	0.1	6	0.1
支21号×四川３眠	4	0.0	6	0.1	4	0.0	4	0.0
山東３眠×Ｃ5・505							4	0.0
青熟×中515号	3	0.0	2	0.0	2	0.0	2	0.0
又昔×中515号	5	0.0					1	0.0
芙蓉×つくばね	300	2.3	180	1.6	143	1.4		
はくぎん			22	0.2	80	0.8		
朝日×つくばね	100	0.8	80	0.7	61	0.6		
改良×黄繭					10	0.1		
琉球多蚕繭			2	0.0	7	0.1		
山東３眠×Ｃ5					7	0.1		
中515号×又昔			2	0.0	2	0.0		
諸桂×紹興	4	0.0	1	0.0	1	0.0		
鬼縮×中515号	1	0.0	1	0.0	1	0.0		
上州絹星	51	0.4	86	0.8				
鐘光×黄玉	35	0.3	30	0.3				
秋光×竜白			5	0.0				
秋花×銀嶺			3	0.0				
白繭細2号			2	0.0				
蚕太	26	0.2						
新青白	14	0.1						
分離白1号×支106号	8	0.1						
合計 Total	13,048	98.9	11,080	100.0	10,185	100.0	11,174	100.0

資　料：（一財）大日本蚕糸会調査。
Source　: The Dainippon Silk Foundation.

(7)生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance andImport/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item / 年月 Year & Month	生糸 Raw Silk					絹糸 Silk Yarn		絹織物 Silk Fabrics	
	生産数量 Produ-ction (A)	輸入数量 Imports (B)	輸出数量 Exports (C)	国内引渡数量 Domestic Deliveries (D)	期末在庫数量 Ending Stocks (E)	輸入数量 Imports (F)	輸出数量 Exports (G)	輸入数量 Imports (H)	輸出数量 Exports (I)
暦年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,928	8,261
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,514	568	12,826	7,586
2007	1,747	12,601	—	15,624	8,080	19,439	404	11,409	7,186
2008	1,588	15,212	270	20,026	4,584	22,636	466	11,696	7,131
2009	1,152	12,075	133	13,623	4,055	16,657	387	9,028	6,271
2010	882	12,207	595	13,220	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	578	10,349	2,456	17,526	427	8,422	6,229
2012	506	10,032	419	10,274	2,301	16,179	320	7,218	5,545
2013	409	9,332	292	9,919	1,833	15,844	426	6,662	5,431
生糸年度 Silk Year									
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	5	20,281	5,281	22,937	290	12,282	7,132
2008	1,378	12,127	266	14,362	4,158	18,726	306	10,446	6,810
2009	1,029	12,845	149	14,222	3,661	17,481	366	8,647	6,215
2010	814	12,172	1,034	13,164	2,999	17,729	377	9,310	6,272
2011	652	8,602	279	9,626	2,348	15,540	433	7,549	5,945
2012	436	10,005	388	9,999	2,402	17,465	301	7,068	5,500
2012 — 7	36	637	9	627	2,272	1,544	38	594	483
8	24	903	15	626	2,573	1,499	18	560	423
9	33	891	124	911	2,462	1,365	6	613	462
10	38	799	0	708	2,591	1,523	43	651	494
11	36	1,122	0	1,062	2,687	1,612	35	605	432
12	43	867	116	1,301	2,180	1,207	14	543	469
2013 — 1	38	958	0	1,014	2,162	1,744	11	582	356
2	32	906	0	818	2,282	1,138	13	505	409
3	36	1,148	122	912	2,432	1,337	44	456	525
4	36	0	2	565	1,901	1,552	16	601	485
5	35	1,314	0	969	2,281	1,628	23	679	483
6	36	926	0	977	2,266	1,175	21	592	479
7	28	611	0	702	2,203	1,326	66	671	461
8	19	758	168	715	2,097	1,288	61	501	416
9	26	566	0	743	1,946	918	68	447	403
10	40	855	0	934	1,907	1,354	45	567	465
11	42	491	0	739	1,701	1,351	19	570	500
12	41	800	0	830	1,712	1,033	40	491	450
2014 — 1	30	776	0	679	1,839	1,579	13	684	324
2	39	591	0	582	1,887	677	21	296	485
3	35	1,055	10	976	1,991	1,338	15	487	511
4	42	270	0	547	1,756	1,392	30	474	521
5	41	927	0	725	1,999	1,332	26	570	486
6	45	869	0	946	1,967	1,355	30	643	380
7	39	599	0	728	1,877	1,311	45	553	429
8		548	0			1,203	25	475	362

資　料：(A)(C)(D)(E)農林水産省生産局調査（～2010.3）、中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.3）、中央蚕糸協会（2012.12～）。(B)財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興 機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F)(G)(H)(I)財務省関税局調査。

備　考：1.国内引渡数量(D)＝｛前月在庫数量+(A)+(B)｝－｛(C)+(E)｝。
2.kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。
3.(D)と(E)は2012年11月までと同年１２月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source　：(A)(C)(D)(E)The Agricultural Production Bureau,Ministry of Agriculture,Forestry and Fisheries（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11)、 Central Raw Silk Ass (2012.12～).
(B)The Customs Bureau,Ministry of Finance.But the figures for raw silk imports have been based on date of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan.1996 until Mar.2008,excluding bonded silk.
(F)(G)(H)(I)TheCustoms Bureau,Ministry of Finance.

Remarks　：1.Domestic deliveries(D)={Stock at end of the previous month+(A)+(B)}-{(C)+(E)}.
2.Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8)生糸の繊度別生産数量の推移
Raw Silk Production by Sizes

（単位：60kg俵）
(Unit：Bales of 60kg)

項目 Item / 年月 Year & Month	生糸 Raw Silk 計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others
暦年 Calendar Year						
2005	2,508	8	337	834	799	527
2006	1,956	4	240	531	653	523
2007	1,747	5	259	495	514	474
2008	1,588	4	289	421	368	503
2009	1,152	1	243	392	251	262
2010	882	1	179	316	86	300
2011	731	1	188	249	89	204
2012	506	—	149	202	73	82
2013	409	—	109	105	57	138
生糸年度 Silk Year						
2005	2,024	6	261	510	726	518
2006	1,794	4	269	480	562	475
2007	1,762	5	276	443	495	537
2008	1,378	1	291	447	280	360
2009	1,029	—	205	358	208	242
2010	814	1	176	273	55	309
2011	652	1	164	239	117	134
2012	437	—	128	175	46	88
2012 － 5	53	—	23	8	13	9
6	49	—	15	29	0	5
7	36	—	11	10	4	11
8	24	—	8	12	0	4
9	33	—	5	21	0	7
10	39	—	14	14	4	7
11	36	—	18	16	0	2
12	43	—	10	21	5	7
2013 － 1	38	—	16	3	10	9
2	32	—	6	12	5	9
3	36	—	10	15	3	8
4	36	—	7	13	6	10
5	35	—	8	9	9	9
6	36	—	8	13	0	15
7	28	—	8	5	1	14
8	19	—	7	1	0	11
9	26	—	13	1	2	10
10	40	—	9	6	11	14
11	42	—	9	12	6	15
12	41	—	8	15	4	14
2014 － 1	30	—	9	3	2	16
2	39	—	10	4	0	25
3	35	—	14	6	6	9
4	42	—	7	11	7	17
5	41	—	9	17	5	10
6	45	—	13	12	5	15
7	39	—	13	8	8	10

資　　料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会(2010.4～)。
備　　考：kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。
Source　：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3). Central Raw Silk Association (2010.4～).
Remarks　：Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9)絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)
(Unit：1,000Bales of 60kg)

項目 Item / 暦年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末在庫 Ending Stocks ④
		期初在庫 Opening Stocks	生産 Production	輸入 Import						輸出 Export					内需 Domestic Demand ②-③	
				計 Total	生糸 Raw Silk	絹糸 Silk Yarn	織物 Fabrics	二次 The Second		計 ③ Total	生糸 Raw Silk	絹糸 Silk Yarn	織物 Fabrics	二次 The Second		
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
対前年比 2012/11 (%)	101	109	100	99	111	89	100	100	102	94	—	—	93	100	103	98

資　料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。
ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、(社)日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source　："Silk balance and price situation monthly","Trade Statistics"(arranged by Agricultural Production Bureau,MAFF)
After 2000,estimated by Japan Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production, Bureau　MAFF.

(10)品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）

Breakdown of Silk Second Products Imports(Raw Silk Value Estimation)

（単位：千俵）

(Unit:1,000 Bales of 60kg)

項目 Item ＼ 暦年 Calendar Year		2007	2008	2009	2010	2011	2012	前年比% y/y	構成比% ratio
布はく製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments	3.9	2.5	1.8	2.8	2.2	2.4	109.1	1.7
	女子用外衣類 Women's upper garments	50.0	40.2	37.1	38.4	51.2	50.0	97.7	35.3
	うちブラウス Blouse of the inside	3.0	3.4	2.8	2.4	2.0	2.2	110.0	1.6
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・ bedding cloth	2.2	1.6	1.1	1.0	1.4	1.5	107.1	1.1
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・ bedding cloth	15.0	16.3	13.5	13.9	15.5	15.5	100.0	11.0
	ハンカチ Handkerchief	0.5	0.5	0.4	0.3	0.5	0.3	60.0	0.2
	ショール、スカーフ類 Shawl.scarves	3.0	2.9	2.5	2.2	2.2	2.3	104.5	1.6
	ネクタイ類 Ties	21.6	20.8	18.2	18.1	14.5	12.8	88.3	9.0
メリヤス、クロセス編物 Knit.kurose knitting		21.2	19.8	15.9	17.9	18.6	22.7	122.0	16.0
その他の洋装類 Other western clothes		25.4	23.7	22.0	21.0	20.2	19.1	94.6	13.5
洋装類計 Western clothes subtotal		143.0	128.3	112.4	115.6	126.3	126.6	100.2	89.4
和装類計 Japanese clothes subtotal		15.5	14.7	15.9	14.5	12.5	11.8	94.4	8.3
うち絹製の帯小物等 Silk obi accessorys of the inside		12.9	12.1	13.9	12.5	10.1	10.1	100.0	7.1
その他 Others		2.5	2.4	1.9	2.9	3.1	3.2	103.2	2.3
合計 Total		161.0	145.4	130.2	133.0	141.9	141.6	99.8	100.0

資料　：　財務省「日本貿易月報」により（社）日本生糸問屋協会で作成したものである。
注）　：　ラウンドにより合計が一致しないことがある。
Source:The Custums Bureau,Ministry of Finance “Trade Statistics”
(arranged by Raw Silk Dealer's Association)
Note :Total may not added up due to round off.

(11)製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

（単位：生繭．t）

(Unit : Ton by fresh weight)

項目 Item / 年月 Year & Month	総計 Grand Total		
	受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦年 Calendar Year			
2005	806	830	589
2006	600	645	541
2007	548	581	505
2008	393	518	378
2009	308	385	313
2010	240	299	263
2011	189	162	237
2012	185	209	183
2013	142	137	188
生糸年度 Silk Year			
2005	837	693	390
2006	562	599	349
2007	502	583	266
2008	406	452	224
2009	324	337	209
2010	260	281	188
2011	202	224	144
2012	142	160	126
2012 — 6	37	16	165
7	24	12	177
8	12	12	177
9	27	11	193
10	55	14	234
11	4	11	227
12	△ 21	23	183
2013 — 1	0	11	172
2	1	10	163
3	0	13	150
4	0	14	136
5	3	13	126
6	21	11	136
7	38	10	164
8	16	7	173
9	7	8	172
10	40	13	199
11	4	13	190
12	12	14	188
2014 — 1	0	11	177
2	0	15	162
3	0	12	150
4	0	15	135
5	0	14	121
6	24	14	131
7	29	14	146

資　料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)。
　　中央蚕糸協会(2012.12～)。

備　考：1.本表は上繭及び玉屑繭の合計である。
　　2.受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source　: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
　　Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).
　　Central Raw Silk Association (2012.12～).

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.
　　2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12)製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

項目 Item / 年月 Year & Month		運転工場数 Operating Reeling Mills	設備数(台) Reeling Machines		運転率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運転 Operating			
暦年 Calendar Year							
2005		10	203	126	62	269	111
2006		9	114	94	82	266	103
2007		8	112	93	83	266	100
2008		7	112	90	80	266	90
2009		7	118	71	60	259	82
2010		7	118	58	49	247	73
2011		7	110	57	52	252	65
2012		7	110	39	35	243	56
2013		7	110	38	35	249	57
2012 —	1	7	110	51	46	18	63
	2	7	110	48	44	19	63
	3	7	110	47	43	19	63
	4	7	110	53	48	22	57
	5	7	110	60	55	21	56
	6	7	110	50	45	22	56
	7	7	110	38	35	14	57
	8	7	110	24	22	20	52
	9	7	110	29	26	21	52
	10	7	110	40	36	23	56
	11	7	110	41	37	22	58
	12	7	110	39	35	22	56
2013 —	1	7	110	41	37	20	55
	2	7	110	36	33	21	55
	3	7	110	35	32	22	55
	4	7	110	36	33	22	58
	5	7	110	33	30	22	60
	6	9	110	34	31	18	67
	7	8	110	25	23	23	61
	8	6	110	16	15	20	53
	9	7	110	33	30	14	59
	10	7	110	36	33	23	59
	11	7	110	37	34	22	57
	12	7	110	38	35	22	57
2014 -	1	6	110	38	35	20	57
	2	6	110	37	34	23	57
	3	6	110	37	34	22	57
	4	7	110	37	34	23	57
	5	7	110	37	34	22	57
	6	9	110	38	35	23	62
	7	9	110	38	35	20	62

資　料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)。
　　中央蚕糸協会及び(一財)大日本蚕糸会(2012.12～)。

備　考：1.設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。
　　2.運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。
　　3.従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source　: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
　　Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).
　　Central Raw Silk Association(2012.12～)

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.
　　2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.
　　3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13)生糸在庫数量の内訳
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)
(Unit：Bales of 60kg)

項目 Item / 年月 Year & Month	総計 Grand Total	一般在庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場売買業者 Dealers	生糸市場外売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出入業者 Ex and Importers	受入数量 Accepts	引渡数量 Deliveries	在庫数量 Ending Stocks
暦年 Calendar Year									
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
2009	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010	3,329	3,329	319	−	2,354	656			
2011	2,456	2,456	288	−	1,651	517			
2012	2,180	2,180	124	−	2,056				
2013	1,712	1,712	110	−	1,602				
生糸年度 (6〜5) Silk Year									
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,205	4,205	376	15	3,266	515			
2009	3,661	3,661	358	−	2,795	508			
2010	2,999	2,999	285	−	2,014	700			
2011	2,348	2,348	304	−	1,481	583			
2012	2,402	2,402	251	−	2,151				
2013	2,266	2,266	137	−	2,129				
2012 — 5	2,348	2,348	304	−	1,481	563			
6	2,226	2,226	299	−	1,344	538			
7	2,272	2,272	283	−	1,474	515			
8	2,573	2,573	280	−	1,656	637			
9	2,462	2,462	267	−	1,698	497			
10	2,591	2,591	263	−	1,764	564			
11	2,687	2,687	248	−	1,842	597			
12	2,180	2,180	124	−	2,056				
2013 — 1	2,162	2,162	136	−	2,026				
2	2,282	2,282	143	−	2,139				
3	2,432	2,432	136	−	2,296				
4	1,901	1,901	137	−	1,764				
5	2,281	2,281	130	−	2,151				
6	2,266	2,266	137	−	2,129				
7	2,203	2,203	118	−	2,085				
8	2,097	2,097	110	−	1,987				
9	1,946	1,946	97	−	1,849				
10	1,907	1,907	103	−	1,804				
11	1,701	1,701	110	−	1,591				
12	1,712	1,712	110	−	1,602				
2014 — 1	1,839	1,839	116	−	1,723				
2	1,887	1,887	114	−	1,773				
3	1,991	1,991	78	−	1,913				
4	1,756	1,756	85	−	1,671				
5	1,971	1,971	99	−	1,872				
6	1,967	1,967	88	−	1,879				
7	1,877	1,877	79	−	1,798				

資　料：農林水産省生産局調査(〜2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4〜2012.11)。中央蚕糸協会(2012.12〜)
Source　：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (〜2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4〜2012.11).
Central Raw Silk Association (2012.12〜).

(14)蚕糸関係品目別輸入状況（平成20年～26年6月）
Breakdown of Silk-Related Products Imports (2009～Jun. 2014)

	単位 Unit	平成26年(2014) (6月) Jun.	平成26年(2014) (累計) Accumulated Total	平成25年 (2013)	平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	25年/24年 2013/12 (%)
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bales of 60kg	869	4,488	9,332	10,032	9,323	12,207	12,075	93.0
絹糸 Silk Yarn	俵 Bales of 60kg	1,355	7,673	15,844	16,179	17,526	16,306	16,647	97.9
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bales of 60kg	12	37	169	81	62	82	149	208.6
繭 Cocoon	kg	0	0	8,300	6,250	4,050	13,158	9,800	132.8
真綿 Floss Silk	kg	-	-	―	―	-	-	-	-
ペニー Peigne	kg	-	-	―	―	-	-	35,331	-
くず繭 Waste Cocoon	kg	1,200	5,461	13,314	6,457	10,885	9,395	33,450	206.2
絹ノイル Silk Noil	kg	-	-	―	―	-	-	-	-
その他の絹くず Other Silk Waste	kg	8,745	46,524	92,024	107,023	98,732	134,852	125,999	86.0
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	9,945	51,985	105,338	107,022	109,617	144,247	159,449	98.4
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	38,548	190,304	438,786	482,523	394,920	451,219	335,710	90.9
絹紡紬糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	10,825	67,337	152,749	140,188	118,404	104,374	97,554	109.0
絹織物 Silk Fabrics	㎡	642,875	3,147,188	6,661,585	7,218,094	8,422,094	8,930,391	9,027,911	92.3

資料：財務省関税局
備考：絹ノイルと真綿の統計は、平成21年1月より廃止された。
Source:The Customs Bureau, Ministry of Finance

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位：60ｋｇ俵)
(Unit：Bales of 60kg)

国名 Country / 年月 Year & Month	計 Total		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam		タイ Thailand	その他 Others
暦年 Calendar Year										
2008	15,242	(137)	10,969	(102)	4,152	(35)	−		122	−
2009	12,085	(72)	8,170	(51)	3,855	(21)	−		41	−
2010	12,209	(65)	8,411	(40)	3,706	(25)	−		32	−
2011	9,323	(63)	7,170	(32)	2,136	(30)	−		5	−
2012	10,032	(49)	8,628	(36)	1,403	(13)	−		−	−
2013	9,332	(98)	8,047	(59)	1,275	(34)	10	(5)	−	−
生糸年度 Silk Year										
2008	12,138	(103)	8,572	(89)	3,435	(14)	11		122	−
2009	12,857	(66)	8,787	(38)	3,896	(28)	11		73	−
2010	12,172	(79)	9,062	(65)	3,068	(14)	1		39	−
2011	8,602	(53)	6,846	(21)	1,754	(32)	1		39	−
2012	10,005	(89)	8,542	(64)	1,454	(25)	5			
2012 − 5	1,757	(5)	1,508	(5)	249		−		−	−
6	460		360		99		−		−	−
7	637	(6)	526		110	(6)	−		−	−
8	903	(5)	817		86	(5)	−		−	−
9	891		750		141		−		−	−
10	799	(7)	660	(5)	139	(2)	−		−	−
11	1,122	(5)	963	(5)	159		−		−	−
12	867	(5)	736	(5)	130		−		−	−
2013 − 1	958	(10)	918	(10)	40		−		−	−
2	906	(9)	698	(7)	207	(2)	−		−	−
3	1,148	(17)	1,083	(17)	65		−		−	−
4	−		−		−		−		−	−
5	1,314	(25)	1,031	(15)	278	(10)	5		−	−
6	925		841		84		−		−	−
7	611	(2)	539		72	(2)	−		−	−
8	758	(15)	577		176	(10)	5	(5)	−	−
9	566		546		20		−		−	−
10	855	(15)	689	(10)	166	(5)	−		−	−
11	491		416		75				−	−
12	800	(6)	708		92	(6)	−		−	−
2014 − 1	776		687		88		−		1	−
2	591	(2)	465	(2)	107		−		−	20
3	1,055	(13)	973	(13)	76		5		−	−
4	270	(4)	169	(4)	100		−		2	−
5	927	(20)	795	(20)	132	(5)	−		−	−
6	869	(7)	683	(7)	133	(10)	50		2	−
7	599		522		75		−		2	−
8	548		459		79		10		−	−

資　　料：財務省関税局調査
備　　考：1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。
　　2. （ ）書きは、玉糸の輸入数量で内数である。
Source　：The Customs Bureau, Ministry of Finance.
Remarks　：1. Country volume may not add up the total volume due to round off.
　　2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

（単位：60kg俵）
(Unit : Bales of 60kg)

年月 Year&Month ＼ 国名 Country		計 Total	韓国 S Korea	中国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦年 Calendar Year									
2008		22,636	143	12,513	6,865	12	—	3,204	12
2009		16,647	—	9,656	5,096	12	—	1,742	137
2010		16,306	—	9,675	4,161	16	—	1,716	205
2011		17,526	—	10,384	5,129	7	—	1,131	212
2012		16,179	—	9,924	4,908	15	—	1,109	223
2013		15,844	—	9,148	5,783	33	—	878	3
生糸年度 Silk Year									
2008		18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2009		17,481	—	9,940	5,065	7	—	1,953	186
2010		12,293	—	7,607	3,595	8	—	945	140
2011		15,540	—	9,060	4,364	44	—	1,713	303
2012		17,476	—	10,591	5,905	17	—	886	68
2012 —	1	1,590	—	1,075	353	—	—	80	80
	2	758	—	378	216	1	—	162	—
	3	1,143	—	747	281	2	—	113	—
	4	1,092	—	662	326	—	—	103	—
	5	1,531	—	1,001	328	—	—	124	78
	6	1,316	—	727	514	1	—	75	—
	7	1,554	—	907	488	—	—	97	53
	8	1,499	—	897	561	—	—	41	—
	9	1,365	—	773	506	1	—	73	12
	10	1,523	—	953	456	3	—	112	—
	11	1,612	—	982	568	5	—	56	—
	12	1,207	—	824	310	1	—	71	—
2013 —	1	1,744	—	1,080	612	—	—	52	—
	2	1,138	—	616	429	—	—	93	—
	3	1,337	—	940	342	5	—	50	—
	4	1,552	—	880	574	—	—	95	3
	5	1,629	—	1,012	545	1	—	71	—
	6	1,175	—	660	446	3	—	67	—
	7	1,326	—	729	555	4	—	38	—
	8	1,288	—	750	419	1	—	118	—
	9	918	—	489	413	1	—	15	—
	10	1,354	—	682	541	1	—	131	—
	11	1,351	—	676	576	18	—	81	—
	12	1,033	—	635	331	1	—	66	—
2014 —	1	1,579	—	820	692	—	—	67	—
	2	677	—	313	271	1	—	91	—
	3	1,338	—	922	371	—	—	45	—
	4	1,392	—	744	556	—	—	90	2
	5	1,332	—	806	456	—	—	69	—
	6	1,355	—	813	471	1	—	71	—
	7	1,311	—	720	531	1	—	59	—
	8	1,203	—	630	498	—	—	56	19

資　　料：財務省関税局調査。
備　　考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。
Source　：The Customs Bureau, Ministry of Finance.
Remarks　：Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17)生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵,円/Ｋｇ

項目 Item / 年月 Year & Month		輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
		中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
		俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦年 Calendar Year											
1999		27,446	2,439	14,602	3,026	11,729	2,979	6,069	3,706	2,886	3,277
2000		30,147	2,655	11,772	3,340	13,769	2,789	5,712	3,543	6,255	3,168
2001		22,018	2,824	8,339	3,713	10,303	3,149	5,130	3,790	6,607	3,688
2002		24,521	2,241	7,909	3,192	13,256	2,556	6,097	3,299	7,122	3,053
2003		24,074	1,988	7,260	2,436	17,408	2,182	6,223	2,740	7,167	2,499
2004		18,016	2,435	7,387	3,631	13,280	2,576	7,444	3,038	7,076	2,624
2005		17,327	2,638	5,308	2,903	18,977	3,105	5,767	3,301	7,550	2,933
2006		14,739	3,736	6,181	4,188	17,019	4,172	5,675	4,543	8,706	3,643
2007		8,793	3,321	3,846	3,778	11,726	3,586	2,930	4,305	4,744	3,972
2008		12,190	3,104	4,153	3,490	12,627	3,361	3,204	3,989	6,865	3,220
2009		8,120	2,740	3,965	3,059	9,656	2,840	1,742	3,611	5,116	3,034
2010		8,411	3,667	3,706	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,606	3,411
2011		7,170	4,469	2,136	5,492	10,384	4,707	1,722	5,398	5,429	4,402
2012		8,628	4,293	1,404	5,290	9,924	4,383	1,110	6,078	4,908	4,493
2013		8,047	5,954	1,275	7,420	9,148	6,150	878	8,409	5,783	6,091
2012 -	1	1,149	4,180	36	5,260	1,075	4,131	92	5,958	353	4,345
	2	289	4,024	193	5,297	378	4,137	162	5,560	216	4,264
	3	870	4,296	61	5,241	747	4,323	113	6,187	281	4,731
	4	－	－	－	－	662	4,372	103	6,065	326	4,887
	5	1,508	4,311	249	5,220	1,001	4,304	124	6,048	328	4,625
	6	360	4,347	99	5,005	727	4,370	75	5,876	515	4,703
	7	526	4,220	110	5,013	907	4,502	97	5,930	488	4,591
	8	817	4,130	81	5,151	897	4,433	41	5,850	561	4,402
	9	750	4,212	141	5,353	773	4,315	73	6,167	506	4,320
	10	660	4,151	139	5,333	953	4,295	112	6,224	456	4,435
	11	963	4,405	159	5,417	982	4,514	56	6,347	568	4,130
	12	736	4,758	130	5,571	824	4,815	71	6,599	310	4,755
2013 -	1	918	5,103	40	6,180	1,080	5,172	52	7,079	612	5,084
	2	698	6,029	207	6,284	616	5,574	93	7,318	429	5,362
	3	1,083	5,733	65	6,749	940	5,959	50	7,806	342	5,789
	4	－	－	－	－	880	6,106	95	8,026	574	5,974
	5	1,031	6,132	278	7,271	1,012	6,311	71	8,405	545	6,105
	6	841	6,237	84	7,517	660	6,461	67	8,602	446	6,505
	7	539	5,855	72	7,850	729	6,285	38	8,783	555	6,362
	8	577	6,223	176	7,869	750	6,469	118	8,807	419	6,392
	9	546	6,250	20	8,035	489	6,468	15	8,853	413	6,485
	10	689	6,242	166	8,049	682	6,443	131	8,821	541	6,208
	11	416	6,178	75	7,918	676	6,480	181	8,878	576	6,508
－	12	708	6,494	93	8,355	635	6,702	66	9,383	331	6,585
2014 -	1	687	6,560	88	8,429	820	6,758	67	9,549	692	6,812
	2	463	6,575	107	8,487	313	6,790	91	9,402	271	6,591
	3	961	6,433	76	8,230	922	6,543	45	9,366	371	6,977
	4	164	6,583	100	8,283	744	6,658	90	9,330	556	6,682
	5	775	6,364	127	8,291	806	6,696	69	9,311	466	6,823
	6	676	6,392	124	8,224	813	6,336	71	9,296	471	6,756
	7	522	6,237	75	8,205	720	6,341	59	9,251	531	6,625
	8	459	6,223	79	8,313	630	6,324	56	9,299	498	6,592

資　料：財務省調査。通関統計による、単価はＣＩＦ価格である。

Source ： The customs Bureau ,Ministry of Finance

Remarks： A unit price is CIF price.

(18)絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit：1,000sq.meters)

品種 Type of Fabrics / 年月 Year & Month	総数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広巾織物 Double Width				小巾織物 Single Width			その他の後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先練(先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先練(先染) Dyed Yarn	
暦年 Calendar Year									
2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542
2008	14,043	4,887	2,061	1,419	1,407	6,929	4,263	2,666	2,228
2009	11,472	4,015	1,732	1,193	1,090	5,663	3,449	2,214	1,794
2010	11,612	3,844	1,510	1,254	1,080	6,212	4,029	2,183	1,556
2011	10,418	4,105	2,615	198	1,292	4,338	1,615	2,719	1,979
2012	9,974	4,548	2,482	200	1,875	3,172	1,776	1,395	2,254
2013	10,062	4,688	2,546	192	1,953	3,039	1,479	1,551	2,334
2013 — 1	818	381	207	16	159	247	120	126	190
2	829	386	210	16	161	250	122	128	192
3	849	396	215	16	165	256	125	131	197
4	883	412	223	17	171	267	130	136	205
5	842	392	213	16	163	254	124	130	195
6	877	408	222	17	170	265	129	135	203
7	900	420	228	17	175	272	132	139	209
8	716	333	181	14	139	216	105	110	166
9	746	348	189	14	145	225	110	115	173
10	887	413	224	17	172	268	130	137	206
11	859	400	217	16	167	260	126	132	199
12	856	399	217	16	166	259	126	132	199
2014 — 1	787	383	218	13	153	217	106	110	188
2	815	396	226	13	158	224	110	114	195
3	811	394	225	13	157	223	110	114	194
4	835	406	231	13	162	230	113	117	200
5	853	414	236	14	165	234	115	119	204
6	863	419	239	14	167	237	116	121	206
7	811	394	225	13	157	223	110	114	194
8	668	324	185	11	130	184	90	93	160

資　　料：（一社）日本絹人繊織物工業会。
備　　考：絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。
Source　：Japan Silk & Rayon Weaver's Association.
Remarks　：Spun and mixed fabrics included .
Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量
Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項目 Item / 年月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦年 Calendar Year								
2005	19,821	90.3	1,058,571	94.5	170,061	92.6	691,780	88.7
2006	18,526	93.5	912,027	86.2	132,448	78.1	598,040	86.4
2007	15,479	83.6	712,560	78.1	97,204	73.0	977,719	163.5
2008	13,914	89.9	656,919	92.2	88,401	90.8	867,490	88.7
2009	9,930	71.4	503,365	76.6	73,681	84.0	746,538	86.1
2010	11,661	117.4	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	10,319	88.5	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	9,944	96.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2013	10,062	101.2	433,451	96.0	55,792	88.7	630,586	97.7
2012 — 1	801	98.4	29,890	91.3	4,787	87.8	51,823	83.7
2	818	93.7	38,352	90.5	5,632	93.4	65,046	107.4
3	832	91.9	37,766	90.4	5,306	76.9	62,163	110.8
4	832	83.8	42,234	94.3	5,614	86.3	57,688	96.1
5	866	103.1	33,283	83.8	6,109	100.2	56,873	90.9
6	887	97.4	43,214	103.4	5,335	87.9	47,616	78.3
7	866	103.8	39,999	91.9	5,967	110.5	47,268	87.9
8	743	95.4	31,797	92.5	4,052	67.0	45,892	93.5
9	719	91.2	39,579	102.4	5,051	93.6	44,900	73.0
10	880	107.2	36,734	93.9	5,159	92.3	55,813	108.2
11	880	100.5	38,312	102.5	4,994	84.2	56,530	101.3
12	849	95.5	40,343	101.3	4,904	91.2	54,067	103.1
2013 — 1	818	102.1	25,024	83.7	4,453	93.0	54,617	105.4
2	829	101.3	41,930	109.3	4,632	82.2	52,253	80.3
3	849	102.0	37,110	98.3	4,306	81.2	55,771	89.7
4	883	106.1	38,904	92.1	5,498	97.9	61,790	107.1
5	842	97.2	34,916	104.9	4,794	78.5	59,581	104.8
6	877	98.9	40,887	94.6	4,694	88.0	49,312	103.6
7	900	103.9	36,717	91.8	5,023	84.1	46,098	97.5
8	716	96.4	30,707	96.6	3,564	81.9	43,162	94.1
9	746	103.8	39,079	98.7	4,974	100.4	45,834	102.1
10	887	100.8	32,162	87.6	4,960	82.8	53,507	95.9
11	859	97.6	39,338	102.7	4,170	83.5	56,868	100.6
12	856	100.8	36,677	90.9	4,724	96.3	51,793	95.8
2014 1	787	96.2	24,533	98.0	4,530	101.7	50,063	91.7
2	815	98.3	38,740	92.4	4,396	94.9	54,843	105.0
3	811	95.5	33,931	91.4	4,903	113.9	62,781	112.6
4	835	94.6	34,069	87.6	4,841	88.1	53,582	86.7
5	853	101.3	33,576	96.2	4,241	88.5	50,515	84.8
6	863	98.4	36,794	90.0	4,980	106.1	47,469	96.3
7	811	90.1	33,951	92.5	4,374	87.1	47,632	103.3
8	668	93.3	30,098	98.0	3,355	94.1	42,905	99.4
9			34,688	88.8	4,908	98.7		

資　料：絹織物生産数量は(一社)日本絹人繊織物工業会調査。主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備　考：2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source　: Japan Silk &Rayon Weaver's Association and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan.2006, sash livings are included in sash production.

(20)全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item / 年月 Year & Month	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing&footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts &sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)
暦年Calendar Year												
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2009	291,737	▲ 1.7	11,994	▲ 4.2	261	▲ 12.7	4,622	▲ 5.5	2,468	▲ 5.0	1,098	▲ 3.1
2010	290,244	▲ 0.5	11,499	▲ 4.1	245	▲ 6.1	4,459	▲ 3.5	2,353	▲ 4.7	1,069	▲ 2.6
2011	282,966	▲ 2.5	11,382	▲ 1.0	270	10.2	4,273	▲ 4.2	2,403	2.1	1,100	2.9
2012	286,169	1.1	11,453	0.6	246	▲ 8.9	4,305	0.7	2,410	0.3	1,087	▲ 1.2
2013	290,455	1.5	11,756	2.6	177	▲ 28.3	4,583	6.4	2,504	3.9	1,066	▲ 2.0
2012 - 4	301,948	2.6	11,687	4.3	95	2.9	4,399	5.4	2,434	1.1	934	5.0
5	287,911	4.0	11,592	▲ 2.5	124	150.1	3,801	▲ 7.2	2,771	▲ 0.7	1,072	▲ 6.6
6	269,810	1.6	11,208	▲ 1.4	169	49.2	3,627	0.4	2,760	▲ 5.4	1,169	▲ 4.5
7	283,295	1.7	11,920	▲ 1.5	239	▲ 15.4	3,923	▲ 3.7	3,161	0.7	1,286	▲ 2.8
8	286,036	1.4	8,627	▲ 3.3	381	▲ 17.1	2,685	0.0	2,062	0.5	960	1.9
9	266,705	▲ 1.2	8,436	▲ 3.1	188	▲ 15.8	2,900	▲ 1.9	1,876	▲ 1.0	837	▲ 2.5
10	284,238	▲ 0.5	12,195	▲ 6.9	244	▲ 61.4	4,637	▲ 7.5	2,559	▲ 8.2	1,129	▲ 5.6
11	273,772	0.1	13,814	4.4	545	10.3	5,394	7.8	2,541	▲ 3.8	1,382	8.5
12	325,492	▲ 0.8	13,813	0.2	172	215.0	5,571	4.0	2,475	▲ 2.7	1,526	▲ 6.9
2013 - 1	288,934	2.1	12,301	▲ 6.4	28	▲ 89.8	5,208	▲ 6.0	2,592	▲ 3.3	1,110	▲ 1.4
2	268,099	0.1	9,117	3.3	194	▲ 49.2	4,053	9.5	1,647	7.6	738	0.8
3	316,166	4.1	13,271	9.1	138	▲ 7.3	6,177	11.2	2,357	16.1	848	▲ 3.2
4	304,382	0.8	11,762	0.6	134	41.1	4,557	3.6	2,512	3.2	868	▲ 7.1
5	282,366	▲ 1.9	12,400	7.0	231	86.3	4,077	7.3	2,956	6.7	1,142	6.5
6	269,418	▲ 0.1	12,139	8.3	419	147.9	4,088	12.7	2,933	6.3	1,130	▲ 3.3
7	286,098	1.0	11,876	▲ 0.4	194	▲ 18.8	4,091	4.3	3,174	0.4	1,224	▲ 4.8
8	284,646	▲ 0.5	8,829	2.3	71	▲ 81.4	2,857	6.4	2,193	6.4	984	2.5
9	280,692	5.2	9,180	8.8	182	▲ 3.2	3,457	19.2	1,936	3.2	807	▲ 3.6
10	290,676	2.3	12,483	2.4	246	0.8	5,123	10.5	2,595	1.4	1,043	▲ 7.6
11	279,546	2.1	13,741	▲ 0.5	94	▲ 82.8	5,663	5.0	2,593	2.0	1,404	1.6
12	334,433	2.7	13,974	1.2	187	8.7	5,639	1.2	2,554	3.2	1,490	▲ 2.4
2014 1	297,070	2.8	14,736	19.8	632	2,157.1	6,424	23.3	2,868	10.6	1,100	▲ 0.9
2	266,610	▲ 0.6	8,384	▲ 8.0	110	▲ 43.3	3,573	▲ 11.8	1,484	▲ 9.9	665	▲ 9.9
3	345,443	9.3	14,955	12.7	168	21.7	6,719	8.8	2,534	7.5	1,166	37.5
4	302,141	▲ 0.7	11,308	▲ 3.9	79	▲ 41.0	4,330	▲ 5.0	2,475	▲ 1.5	866	▲ 0.2
5	271,411	▲ 3.9	12,145	▲ 2.1	238	3.0	3,923	▲ 3.8	2,913	▲ 1.5	1,133	▲ 0.8
6	272,791	1.3	12,141	0.0	322	▲ 23.2	4,130	1.0	2,785	▲ 5.0	1,184	4.8
7	280,293	▲ 2.0	11,262	▲ 5.2	352	81.4	3,658	▲ 10.6	2,969	▲ 6.5	1,186	▲ 3.1
8	282,124	▲ 0.9	9,307	5.4	226	218.3	3,105	8.7	2,147	▲ 2.1	981	▲ 0.3

資料:総務省統計局「家計調査報告」。２人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考：「被服及び履物」は右に並ぶ内訳４項目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source:Family Income and Expenditure Survey by Statitics Bureau,MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks:Clothing&footwear includes japanese clothing ,clothing ,shirts&sweaters and other items.

Year value is mean of the each month

ー資料・海外ー

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区　分		2005年	2006年	2007年
		トン	トン	トン
日本	Japan	626	505	433
中国	China	621,461	739,715	779,261
インド	India	126,261	135,462	132,038
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	7,146	8,051	8,617
タイ	Thailand	10,650	10,100	1,785
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	2,543	2,104	1,665
トルコ	Turkey	170	350	130
インドネシア	Indonesia	691	339	470
ブルガリア	Bulgaria	42	65	55
ギリシャ	Greece	70	100	104
フィリピン	Philippines	14.4	16	9
シリア	Syria	5.5	3	2.5
主要国の計	Total	810,680	937,810	965,570

区　分		2008年	2009年	2010年
		トン	トン	トン
日本	Japan	382	327	265
中国	China	683,387	575,299	617,915
インド	India	124834	131,661	131,924
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	6,266	4,835	4,439
タイ	Thailand	7,700	4,655	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	25,760	25,896	20,000
イラン	Iran	1,185	1,185	1,185
トルコ	Turkey	126	140	140
インドネシア	Indonesia	273	133	161
ブルガリア	Bulgaria	48	51	75
ギリシャ	Greece	100	100	100
フィリピン	Philippines	6	4	4
シリア	Syria	3	4	4
主要国の計	Total	871,070	765,290	801,867

注1　日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2　シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1Figures ofJapan are based on the data of the Agricultural Production Bureau,MAFF.
Figures of China are based on the data of the China Silk Association.
Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.
Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).
Others than these countries,based on the data of International Sericulture Commission (ISC).
2 As the figures of Vietnam(since2004) is not reported ,that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区　分		2005年		2006年		2007年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	151	2,500	119	2,000	105	1,800
中国	China	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000	108,420	1,807,000
インド	India	15,445	257,400	16,525	275,400	16,245	270,800
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,285	21,400	1,387	23,100	1,220	20,300
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,080	18,000	760	12,700
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	395	6,600	324	5,400	253	4,200
トルコ	Turkey	30	500	25	400	20	300
インドネシア	Indonesia	91	1,500	47	800	65	1,100
ブルガリア	Bulgaria	6	100	5	100	7.5	100
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1.1	0	1.6	0	1	0
シリア	Syria	0.7	0	0.5	0	0	0
主要国の計	Total	109,940	1,832,300	115,973	1,933,100	130,451	2,174,200

区　分		2008年		2009年		2010年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	95	1,600	69	1,200	53	900
中国	China	98,620	1,643,700	92,455	1,540,900	95,778	1,596,300
インド	India	15,610	260,200	16,322	272,000	16,360	272,700
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,177	19,600	811	13,500	770	12,800
タイ	Thailand	1,100	18,300	665	11,100	665	11,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,417	23,600	2,447	40,800	2,100	35,000
イラン	Iran	180	3,000	180	3,000	180	3,000
トルコ	Turkey	15	300	20	300	20	300
インドネシア	Indonesia	37	600	19	300	20	300
ブルガリア	Bulgaria	7.5	100	6.3	100	9.4	160
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	1	0	1	0
シリア	Syria	0.4	0	0.6	0	0.6	0
主要国の計	Total	120,514	2,008,600	115,250	1,920,800	118,211	1,970,160

注1　日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2　シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures ofJapan are based on the data of the Agriculyural Production Bureau,MAFF.
Figures of China are based on the data of the China Silk Association.
Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.
Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).
Others than these countries,based on the data of International Sericulture Commission (ISC).
2 As the figures of Vietnam(since2004) is not reported ,that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(3)中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数

Domesticated Cocoon Production,Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

区分 / 省 Province		家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%)(MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%)(MT, %)		
		2009	2010	対前年比 2010/09	2009	2010	対前年比 2010/09
山西	Shanxi	4,046	5,894	146	266	182	68
河北	Hebei	1,200	1,500	125	–	–	–
江蘇	Jiangsu	73,175	77,399	106	17,800	16,000	90
浙江	Zhejiang	45,600	57,000	125	15,000	14,436	96
安徽	Anhui	24,800	25,000	101	5,200	6,438	124
江西	Jiangxi	7,602	7,000	92	2,900	3,591	124
山東	Shandong	23,900	22,000	92	5,800	7,510	129
河南	Henan	10,101	7,500	74	2,100	103	5
湖北	Hubei	17,150	10,600	62	555	446	80
湖南	Hunan	3,182	2,452	77	104	197	189
広東	Guangdong	53,321	39,300	74	1,722	1,711	99
広西	Guangxi	172,900	214,000	124	16,237	18,164	112
重慶	Chongqing	17,311	17,200	99	4,200	4,000	95
四川	Sichuan	70,000	71,000	101	14,900	14,900	100
貴州	Guizhou	2,751	1,460	53	105	134	128
雲南	Yunnan	30,230	40,000	132	2,237	2,138	96
陝西	Shaanxi	17,200	17,600	102	3,263	3,664	112
甘粛	Gansu	253	304	120	–	–	–
寧夏	Ningxia	126	126	100	–	–	–
新疆	Xinjiang	450	580	129	–	–	–
内蒙古	Inner Monglia	–	–	–	66	64	97
合計	Total	575,299	617,915	107	92,455	95,778	104

製糸工場数（件） Number of Filatures		
2006	2008	前年比 2008/06
702	682	97

資料：中国絲綢協会資料による

注　：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4)中国省別家蚕繭生産数量の推移

Domesticated Cocoon Production in China (1998年～2009年)

(単位：万トン)(Unit: 10,000ton)

地域	Area	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	前年比 10/09(%)
北　京	Beijing													
天　津	Tianjin													
河　北	Hebei	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	0.2	125
山　西	Shanxi	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	146
内蒙古	Inner Monglia													
遼　寧	Liaoning													
吉　林	Jilin													
黒龍江	Heilongjiang													
上　海	Shanghai						0.0	0.0						
江　蘇	Jiangsu	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	10.4	9.5	7.3	7.7	106
浙　江	Zhejiang	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	8.4	6.4	4.6	5.7	125
安　徽	Anhui	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	3.8	3.3	2.5	2.5	101
福　建	Fujian													
江　西	Jiangxi	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.8	0.7	92
山　東	Shandong	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	4.0	3.5	2.4	2.2	92
河　南	Henan	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	1.4	1.2	1.0	0.8	74
湖　北	Hubei	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	1.6	2.1	1.7	1.1	62
湖　南	Hunan			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	77
広　東	Guangdong	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	8.1	7.1	5.3	3.9	74
広　西	Guangxi	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	20.5	17.1	17.3	21.4	124
海　南	Hainan													
重　慶	Chongqing	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	2.5	2.2	1.7	1.7	99
四　川	Sichuan	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	8.4	6.9	7.0	7.1	101
貴　州	Guizhou	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	0.1	53
雲　南	Yunnan	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	3.7	4.0	3.0	4.0	132
チベット	Tibet													
陝　西	Shaanxi	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	2.5	2.4	1.7	1.8	102
甘　粛	Gansu						0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
青　海	Qinghai													
寧　夏	Ningxia						0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
新　彊	Xinjiang	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
合　計	Total	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	77.9	68.3	57.5	61.8	107

資料：2003年までは中国国家統計局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。
　　合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China
　　Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5) 中国のシルク類(生糸、絹糸、絹織物)の輸出状況

Silk Exports of China
(2012年1月～12月)

相手国		Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
			数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USドル) (USD1,000,000)	
			2012年実績	12/11(%)	2012年実績	12/11(%)
1	インド	India	4,505,837	109.52	210.390	100.64
2	ベトナム	Vietnam	783,904	125.53	38.084	124.02
3	ルーマニア	Romania	729,411	100.11	35.729	93.89
4	日本	Japan	482,249	119.68	25.830	114.45
5	韓国	South Korea	412,421	88.43	20.393	83.14
6	イタリア	Italy	309,833	99.30	15.627	90.46
7	バングラデッシュ	Bangladesh	105,212	119.12	4.869	111.62
8	ミヤンマー	Myanmar	99,217	120.59	4.827	114.80
9	ブラジル	Brazil	41,321	93.39	2.253	95.72
10	ブルガリア	Bulgaria	39,232	250.59	2.008	237.55
11	その他	Others	165,357	68.19	8.442	66.12
合計		Total	7,673,994	107.75	368.452	100.47

Silk Exports of China
(2013年1月～12月)

相手国		Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
			数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USドル) (USD1,000,000)	
			2013年実績	13/12(%)	2013年実績	13/12(%)
1	インド	India	3,234,255	71.78	175.674	83.50
2	ルーマニア	Romania	956,164	131.09	54.148	151.55
3	ベトナム	Vietnam	879,436	112.19	48.996	128.65
4	日本	Japan	441,864	91.63	27.008	104.56
5	イタリア	Italy	375,606	121.23	22.116	141.53
6	韓国	South Korea	322,193	78.12	18.240	89.44
7	バングラデッシュ	Bangladesh	112,589	107.01	6.218	127.72
8	ブラジル	Brazil	86,068	208.29	5.249	233.02
9	ミャンマー	Myanmar	82,686	83.34	4.641	96.14
10	アラブ首長国連邦	United Arab Emirat	69,375	379.55	3.757	429.44
11	その他	Others	129,996	69.77	7.560	78.96
合計		Total	6,690,232	87.18	373.607	101.39

相手国		Country	絹糸 Silk Yarn			
			数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USドル) (USD1,000,000)	
			2012年実績	12/11(%)	2012年実績	12/11(%)
1	日本	Japan	655,083	100.22	35.489	94.83
2	インド	India	399,229	45.92	19.203	43.04
3	イタリア	Italy	370,973	69.85	19.699	64.49
4	ドイツ	Germany	256,806	128.67	13.932	135.84
5	パキスタン	Pakistan	249,628	92.67	12.357	88.13
6	韓国	South Korea	188,559	103.41	9.625	98.64
7	タイ	Thailand	108,350	79.70	5.628	71.47
8	インドネシア	Indonesia	75,921	80.69	3.737	76.81
9	ベトナム	Vietnam	47,662	143.83	2.312	135.88
10	香港	Hong Kong	27,214	205.14	1.036	197.85
11	その他	Others	196,543	97.95	9.827	94.46
合計		Total	2,575,968	80.94	133.927	78.30

相手国		Country	絹糸 Silk Yarn			
			数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USドル) (USD1,000,000)	
			2013年実績	13/12(%)	2013年実績	13/12(%)
1	日本	Japan	625,692	95.51	38.265	107.82
2	イタリア	Italy	429,633	115.81	26.632	135.19
3	インド	India	315,664	79.07	17.728	92.32
4	ドイツ	Germany	221,637	86.31	14.577	105.45
5	韓国	South Korea	155,680	82.56	9.110	94.65
6	パキスタン	Pakistan	149,864	60.03	8.760	70.89
7	タイ	Thailand	97,648	90.12	5.910	105.02
8	インドネシア	Indonesia	64,493	84.95	3.660	97.93
9	リビア	Libya	33,790	170.64	2.829	192.83
10	トルコ	Turkey	32,426	651.12	1.963	678.20
11	その他	Others	215,646	87.43	12.115	102.85
合計		Total	2,342,173	90.92	141.549	115.90

相手国		Country	絹織物 Silk Fabrics			
			数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USドル) (USD1,000,000)	
			2012年実績	12/11(%)	2012年実績	12/11(%)
1	パキスタン	Pakistan	60,795,118	123.71	221.429	136.62
2	イタリア	Italy	30,611,776	91.29	173.999	93.77
3	インド	India	22,883,399	71.21	107.334	74.15
4	香港	Hong Kong	14,413,983	98.38	104.429	102.96
5	韓国	South Korea	11,463,400	82.42	76.701	91.32
6	アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	9,815,910	134.63	61.898	169.70
7	日本	Japan	9,265,038	89.70	43.154	92.75
8	マレーシア	Malaysia	7,114,607	111.84	38.315	100.89
9	アメリカ	United States	5,571,051	89.10	42.063	95.11
10	トルコ	Turkey	3,799,272	73.73	21.575	79.00
11	その他	Others	1,251,674	80.75	166.336	89.02
合計		Total	206,985,228	95.19	943.958	100.01

相手国		Country	絹織物 Silk Fabrics			
			数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USドル) (USD1,000,000)	
			2013年実績	13/12(%)	2013年実績	13/12(%)
1	パキスタン	Pakistan	47,586,463	78.27	204.414	92.31
2	イタリア	Italy	26,638,448	87.02	160.210	92.08
3	インド	India	16,848,146	73.63	88.764	82.70
4	香港	Hong Kong	10,876,747	75.46	86.259	82.60
6	アラブ首長国連邦	United Arab Emirat	9,856,944	100.42	67.575	109.17
5	韓国	South Korea	8,955,041	78.12	64.641	84.28
7	日本	Japan	8,034,285	86.72	40.938	94.82
8	マレーシア	Malaysia	5,848,811	82.21	36.385	94.96
9	アメリカ	United States	4,467,178	80.18	37.605	89.40
10	トルコ	Turkey	4,270,322	112.40	27.942	129.51
11	その他	Others	23,954,769	76.61	145.636	87.49
合計		Total	167,337,154	80.84	960.369	90.83

資料:中国税関
Source:Customs General Administration in China

資料:中国税関
Source: Customs General Administration in China

(6)中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格
Spot Price of Various Silk Goods

2014年8月　平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		98.50 ～ 131.25	1,675 ～ 2,231
2	玉繭(double cocoon)		83.78 ～ 94.65	1,424 ～ 1,609
3	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	91.35 ～ 100.13	1,553 ～ 1,702
4	ビス(bisu)		68.48 ～ 74.60	1,164 ～ 1,268
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	337.63 ～ 342.45	5,740 ～ 5,822
6	生糸(raw silk)	21d、検験局検査	339.23 ～ 344.93	5,767 ～ 5,864
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	338.50 ～ 343.50	5,755 ～ 5,840
8	玉糸(doupion silk)	110d	309.68 ～ 324.95	5,264 ～ 5,524
9	土糸(native silk)	110d	299.85 ～ 307.48	5,097 ～ 5,227
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(元/メートル) (price range)
10	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	31.90 ～ 33.27	542 ～ 566
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	26.44 ～ 27.94	449 ～ 475
12	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	46.38 ～ 48.38	788 ～ 822
13	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	50.44 ～ 52.06	857 ～ 885
14	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	42.60 ～ 65.88	724 ～ 1120
15	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	36.45 ～ 48.75	620 ～ 829

注:1元=17円

2014年9月　平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		93.75 ～ 126.25	1,594 ～ 2,146
2	玉繭(double cocoon)		86.10 ～ 99.15	1,464 ～ 1,686
3	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	94.10 ～ 102.15	1,600 ～ 1,737
4	ビス(bisu)		70.13 ～ 76.58	1,192 ～ 1,302
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	329.00 ～ 334.25	5,593 ～ 5,682
6	生糸(raw silk)	21d、検験局検査	333.43 ～ 337.85	5,668 ～ 5,743
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	331.75 ～ 339.50	5,640 ～ 5,772
8	玉糸(doupion silk)	110d	306.78 ～ 321.28	5,215 ～ 5,462
9	土糸(native silk)	110d	298.10 ～ 337.85	5,068 ～ 5,743
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(元/メートル) (price range)
10	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	31.47 ～ 33.04	535 ～ 562
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	26.39 ～ 28.14	449 ～ 478
12	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	45.63 ～ 48.13	776 ～ 818
13	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	50.10 ～ 52.03	852 ～ 885
14	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	42.52 ～ 50.38	723 ～ 856
15	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	36.40 ～ 48.63	619 ～ 827

注:1元=17円
資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表
Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

(7)中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率

Total Wage Bill of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	賃金総額（億元） Total Wage Bill(100million yuan)				対前年増減率（%） Indices(preceding year=100)			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective-owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective-owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1997年	9,602.4	7,323.9	1,283.9	994.5	3.8	6.2	1.1	24.0
1998年	9,540.2	6,934.6	1,054.9	1,550.7	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 17.8	55.9
1999年	10,155.9	7,289.9	995.8	1,870.1	6.5	5.1	▲ 5.6	20.6
2000年	10,954.7	7,744.9	950.7	2,259.1	7.9	6.2	▲ 4.5	20.8
2001年	12,205.4	8,515.2	898.5	2,791.7	11.4	9.9	▲ 5.5	23.6
2002年	13,638.1	9,138.0	863.9	3,636.2	11.7	7.3	▲ 3.9	30.3
2003年	15,329.6	9,911.9	867.1	4,550.6	12.4	8.5	0.4	25.1
2004年	17,615.0	11,038.2	876.2	5,700.6	14.9	11.4	1.0	25.3
2005年	20,627.1	12,291.7	906.4	7,429.0	17.1	11.4	3.4	30.3
2006年	24,262.3	13,920.6	983.8	9,357.9	17.6	13.3	8.5	26.0
2007年	29,471.5	16,689.1	1,108.1	11,674.3	21.5	19.9	12.6	24.8
2008年	35,289.5	19,487.9	1,203.2	14,598.4	19.7	16.8	8.6	25.0
2009年	40,288.2	21,862.7	1,273.3	17,152.1	14.2	12.2	5.8	17.5
2010年	47,269.9	24,886.4	1,433.7	20,949.7	17.3	13.8	12.6	22.1
2011年	59,954.7	28,954.8	1,737.4	29,262.4	26.8	16.3	21.2	39.7
2012年	70,914.2	32,950.0	1,990.4	35,973.8	18.3	13.8	14.6	22.9

資料：中国統計年鑑(2013)

Source: China Statiscal Yearbook 2013

(8)中国企業別従業員年間平均賃金及びその対前年増減率

Average Wage of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	年平均賃金（元） Average Wage (yuan)				対前年増減率（%） Indices(preceding year=100)							
					名目賃金Average Wage				実質賃金Average Real Wage			
	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective-owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective-owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective-owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1997年	6,444	6,679	4,516	9,092	7.8	7.6	4.7	6.7	4.5	4.4	1.6	3.5
1998年	7,446	7,579	5,314	9,241	15.5	13.5	17.7	1.6	16.2	14.2	18.4	2.3
1999年	8,319	8,443	5,758	10,142	11.7	11.4	8.4	9.8	13.2	12.9	9.8	11.2
2000年	9,333	9,441	6,241	11,238	12.2	11.8	8.4	10.8	11.3	10.9	7.5	9.9
2001年	10,834	11,045	6,851	12,437	16.1	17.0	9.8	10.7	15.3	16.2	9.0	9.9
2002年	12,373	12,701	7,636	13,486	14.2	15.0	11.5	8.4	15.4	16.2	12.6	9.5
2003年	13,969	14,358	8,627	14,843	12.9	13.0	13.0	10.1	11.9	12.0	12.0	9.1
2004年	15,920	16,445	9,723	16,519	14.0	14.5	12.7	11.3	10.3	10.9	9.1	7.7
2005年	18,200	18,978	11,176	18,362	14.3	15.4	14.9	11.2	12.5	13.6	13.1	9.4
2006年	20,856	21,706	12,866	21,004	14.6	14.4	15.1	14.4	12.9	12.7	13.4	12.7
2007年	24,721	26,100	15,444	24,271	18.5	20.2	20.0	15.6	13.4	15.0	14.8	10.6
2008年	28,898	30,287	18,103	28,552	16.9	16.0	17.2	17.6	10.7	9.8	11.0	11.4
2009年	32,244	34,130	20,607	31,350	11.6	12.7	13.8	9.8	12.6	13.7	14.8	10.8
2010年	36,539	38,359	24,010	35,801	13.3	12.4	16.5	14.2	9.8	8.9	12.9	10.7
2011年	41,799	43,483	28,791	41,323	14.4	13.4	19.9	15.4	8.6	7.7	13.9	9.6
2012年	46,769	48,357	33,784	46,360	11.9	11.2	17.3	12.2	9.0	8.3	14.2	9.3

中国統計年鑑2013 Source:China Statiscal Yearbook 2013

(9)中国産業別従業員年平均賃金の推移

Average Wage of Employed Persons in Urban Units by Sector　　(単位:元)(yuan)

産 業 別 Sector	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
農、林、牧、漁業 Agriculture,Forestry,Fishery	8,207	9,269	10,847	12,560	14,356	16,717	19,469	22,687
採掘業Mining	20,449	24,125	28,185	34,233	38,038	44,196	52,230	56,946
製造業Manufacturing	15,934	18,225	21,144	24,404	26,810	30,916	36,665	41,650
電力、ガス、水道業 Production/Distribution of Electricity,Gas and Water	24,750	28,424	33,470	38,515	41,869	47,309	52,723	58,202
建築業Construction	14,112	16,164	18,482	21,223	24,161	27,529	32,103	36,483
交通、運輸、倉庫、郵便業 Transport,Starage and Post	20,911	24,111	27,903	32,041	35,315	40,466	47,078	53,391
情報通信コンピューターサービスInformation Transmission,Computer Service and Software	38,799	43,435	47,700	54,906	58,154	64,436	70,918	80,510
卸売、小売業 Wholesale and Retail Trades	15,256	17,796	21,074	25,818	29,139	33,635	40,654	46,340
ホテル、飲食業 Hotels and Catering Services	13,876	15,236	17,046	19,321	20,860	23,382	27,486	31,267
金融業Financial Intermediatior	29,229	35,495	44,011	53,897	60,398	70,146	81,109	89,743
不動産業Real Estate	20,253	22,238	26,085	30,118	32,242	35,870	42,837	46,764
賃貸、リース業 Leasing and Bisiness Services	21,233	24,510	27,807	32,915	35,494	39,566	46,976	53,162
科学研究、技術サービス業 Scientific Research,Technical Services	27,155	31,644	38,432	45,512	50,143	56,376	64,252	69,254
水利、環境管理業 Manage of Water Conservancy,Enviroment and Public Services	14,322	15,630	18,383	21,103	23,159	25,544	28,868	32,343
家庭サービス業Services to Households and Other Services	15,747	18,030	20,370	22,858	25,172	28,206	33,169	35,135
教育Education	18,259	20,918	25,908	29,831	34,543	38,968	43,194	47,734
衛生、社会保障、社会福祉業 Health,Social Securities and Entertainment	20,808	23,590	27,892	32,185	35,662	40,232	46,206	52,564
文化、スポーツ、娯楽業 Culture,Sports and Entertainment	22,670	25,847	30,430	34,158	37,755	41,428	47,878	53,558
公共機関、社会団体 Public Management and Social Organization	20,234	22,546	27,731	32,296	35,326	38,242	42,062	46,074
合　計Total	18,200	20,856	24,721	28,898	32,244	36,539	41,799	46,769

(出所)中国統計年鑑2013

Source:China Statiscal Yearbooh 2013

上記を円(Yen)換算

産業別　Sector	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
製造業 Manufactur	212,560	273,375	317,160	366,060	375,340	401,908	476,645	541,450
合　計 Total	242,788	312,840	370,815	433,470	451,416	475,007	543,387	607,997
年別人民元yuan／円yenレート	13.34	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00	13.00	13.00

(10)中国省別従業員年平均賃金(2012年)

Average Wage of Employed Persons Urban Units by Region

省（区）別 Region		年平均賃金(単位:元)(yuan)	円換算(円)(yen)	対全国平均比(%) Indices(average=100)
北京	Beijing	84,742	1,101,646	181.19
天津	Tianjin	61,514	799,682	131.53
河北	Hebei	38,658	502,554	82.66
山西	Shanxi	44,236	575,068	94.58
内蒙古	Inner Mongolia	46,557	605,241	99.55
遼寧	Liaoning	41,858	544,154	89.50
吉林	Jilin	38,407	499,291	82.12
黒龍江	Heilongjiang	36,406	473,278	77.84
上海	Shanghai	78,673	1,022,749	168.22
江蘇	Jiangsu	50,639	658,307	108.27
浙江	Zhejiang	50,197	652,561	107.33
安徽	Anhui	44,601	579,813	95.36
福建	Fujian	44,525	578,825	95.20
江西	Jiangxi	38,512	500,656	0.04
山東	Shandong	41,904	544,752	89.60
河南	Henan	37,338	485,394	79.83
湖北	Hubei	39,846	517,998	85.20
湖南	Hunan	38,971	506,623	83.33
広東	Guangdong	50,278	653,614	107.50
広西	Guangxi	36,386	473,018	77.80
海南	Hainan	39,485	513,305	84.43
重慶	Chongqing	44,498	578,474	95.14
四川	Sichuan	42,339	550,407	90.53
貴州	Guizhou	41,156	535,028	88.00
雲南	Yunnan	37,629	489,177	80.46
西蔵	Tibet	51,705	672,165	110.55
陝西	Shaanxi	43,073	559,949	92.10
甘粛	Gansu	37,679	489,827	80.56
青海	Qinghai	46,483	604,279	99.39
寧夏	Ningxia	47,436	616,668	101.43
新疆	Xinjiang	44,576	579,488	95.31
全国平均	Average	46,769	607,997	100.00

（出所）中国統計年鑑2013　Source: China Statiscal Yearbook 2013
（注）１元＝13円　Note:1yuan=13yen

(11)ブラジルの繭・生糸生産数量の推移
Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)
1991/92	17,586
1992/93	19,134
1993/94	18,260
1994/95	16,260
1995/96	15,368 (95%)
1996/97	14,811 (96%)
1997/98	14,594 (99%)
1998/99	10,305 (71%)
1999/2000	8,473 (82%)
2000/01	9,916 (117%)
2001/02	10,238 (103%)
2002/03	9,966 (97%)
2003/04	8,005 (80%)
2004/05	7,146 (89%)
2005/06	8,051 (113%)
2006/07	8,617 (107%)
2007/08	6,266 (73%)
2008/09	4,835 (77%)
2009/10	4,439 (92%)
2010/11	3,037 (68%)
2011/12	2,620 (86%)
2012/13	2,608 (99%)
2013/2014 〔見込み〕 〔Estimate〕	2,570 (98%)
2014/2015 〔見込み〕 〔Estimate〕	2,650 (103%)

暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1991	2,077,155	34,619
1992	2,296,053	38,268
1993	2,325,809	38,763
1994	2,535,440	42,257
1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008	1,176,885 (97%)	19,615
2009	811,020 (69%)	13,517
2010	769,903 (95%)	12,832
2011	557,633 (72%)	9,294
2012	439,504 (79%)	7,325
2013	440,301 (100%)	7,338
2014 〔見込み〕 〔Estimate〕	445,000 (101%)	7,417
2015 〔見込み〕 〔Estimate〕	460,000 (103%)	7,667

資料:ブラタク製糸株式会社
注:()内は対前年比
〔 〕内の見込みは2013年9月現在
Source: Fiação de Seda Brtac S.A
Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.
Estimates are as of September 2013.

(12)ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移

Raw Silk and Thrown Silk Yarns Exportation

区分		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
		kg %	kg %	kg %	kg %	kg %	kg %
日本	Japan	442,264 44%	296,578 34%	294,346 38%	249,069 49%	136,110 32%	140,010 32%
ベトナム	Vietnam	243,950 25%	308,464 36%	217,347 28%	118,034 23%	82,959 19%	51,491 12%
フランス	France	101,391 10%	74,747 9%	53,441 7%	87,886 17%	180,368 42%	202,938 46%
イタリア	Italy	83,032 8%	68,418 8%	143,159 19%	42,913 9%	26,951 6%	28,285 6%
韓国	South Korea	43,844 4%	25,259 3%	27,916 4%	0 0%	302 0%	303 0%
トルコ	Turkey	21,370 2%	16,165 2%	21,131 3%	3,660 1%	0 0%	0 0%
ドイツ	Germany	6,095 1%	0 0%	3,742 0%	4,940 1%	5,417 1%	4,815 1%
インド	India	38,072 4%	73,181 8%	3,600 0%	0 0%	0 0%	7,950 2%
チュニジア	Tunisia	2,428 0%	 0%	2,609 0%	1,205 0%	0 0%	0 0%
スイス	Switzerland	11,344 1%	758 0%	256 0%	5 0%	12 0%	18 0%
その他	the others	1,012 0%	3,189 0%	242 0%	117 0%	230 0%	348 0%
合 計	Total	994,801 100%	866,759 100%	767,789 100%	507,829 100%	432,349 100%	436,158 100%

資　料 : ブラタク製糸株式会社

Source : Fiação de Seda Brtac S.A

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

http://www.silk-teikei.jp/index.html

シルクレポート　2014 年 11 月号 NO.39　　平成 26 年 11 月 1 日発行

編集 / 発行　**一般財団法人大日本蚕糸会**
蚕糸・絹業提携支援センター

（問い合わせ先）　〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階
TEL：03-3214-3500
FAX：03-3214-3511
URL:http://www.silk-teikei.jp/index.html

製本／印刷　株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず